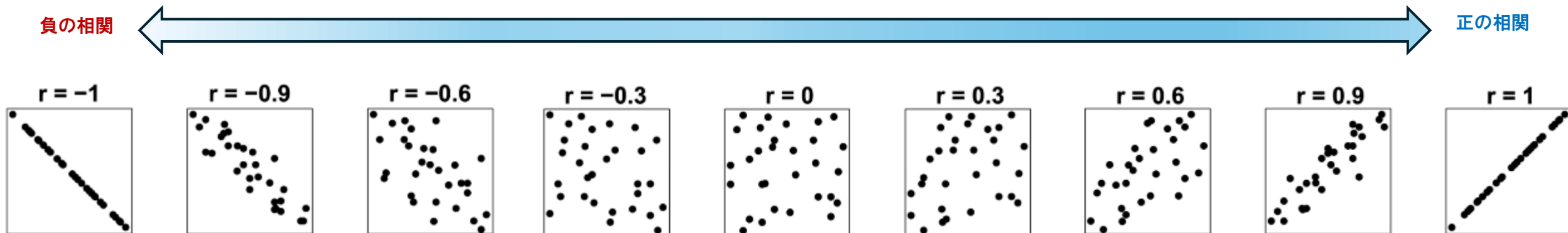


児童・生徒質問紙調査の 結果について

相関係数とは…

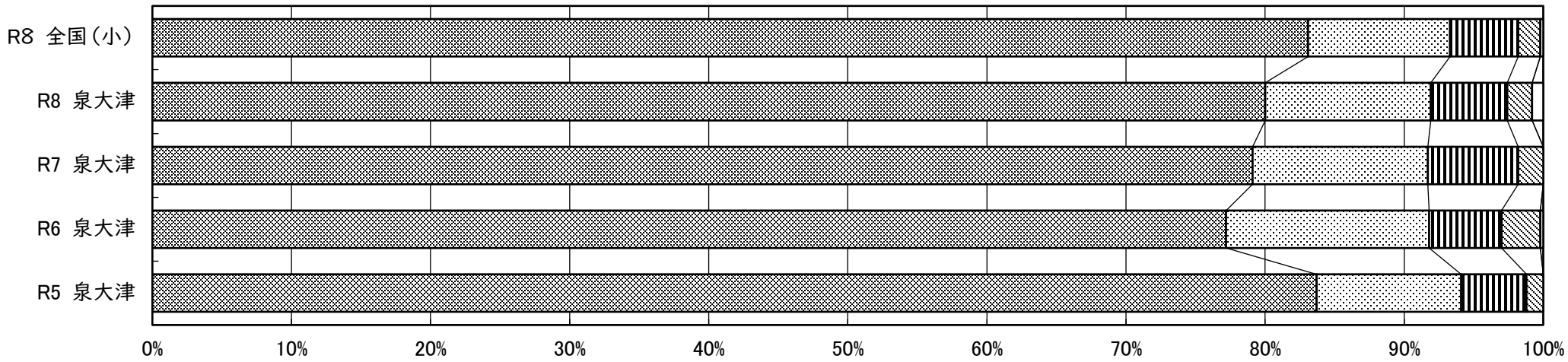
- 2つのことからの数値的な関係の強さを、
-1～+1の範囲で表したものの。
- 値がプラスであれば散布図は右上がり、
マイナスであれば右下がり傾向となる。



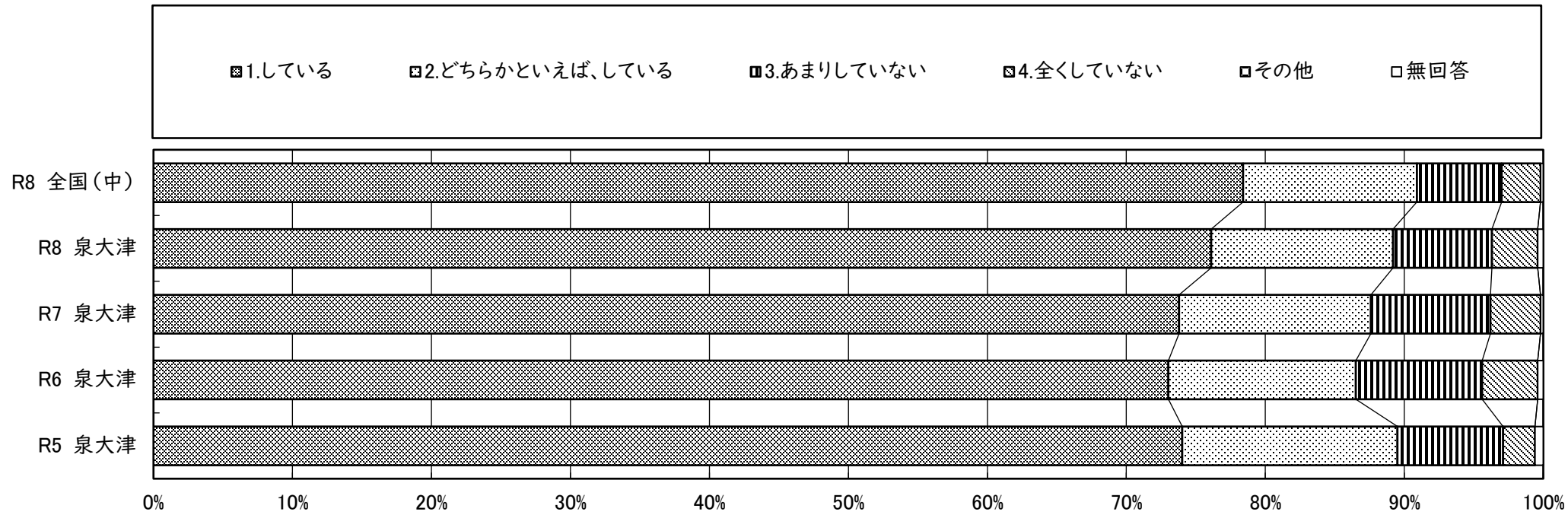
学力と関係が深かった項目については、相関係数を掲載しています。（因果関係ではありません。）

朝食を毎日食べていますか

小学校

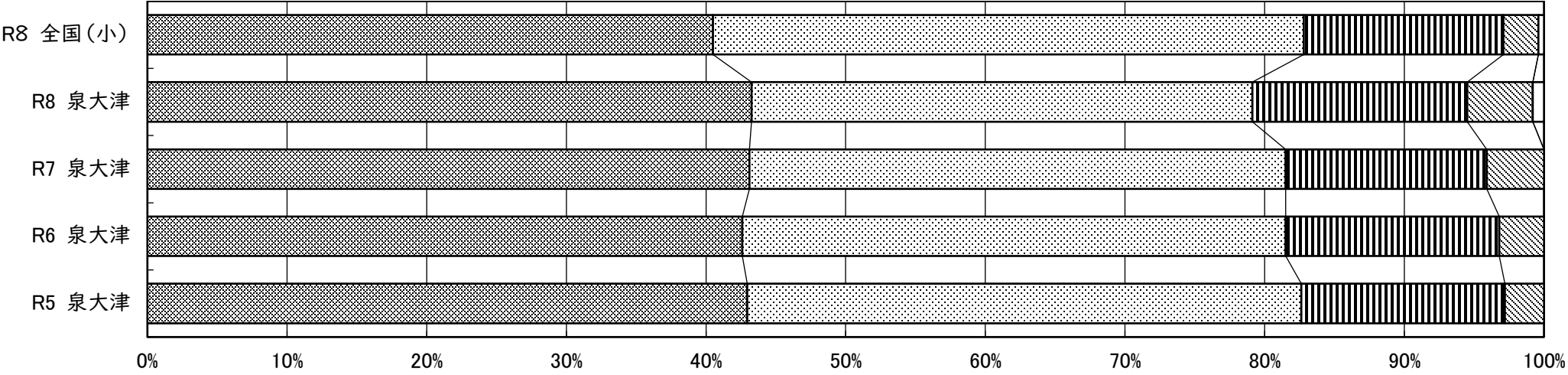


中学校

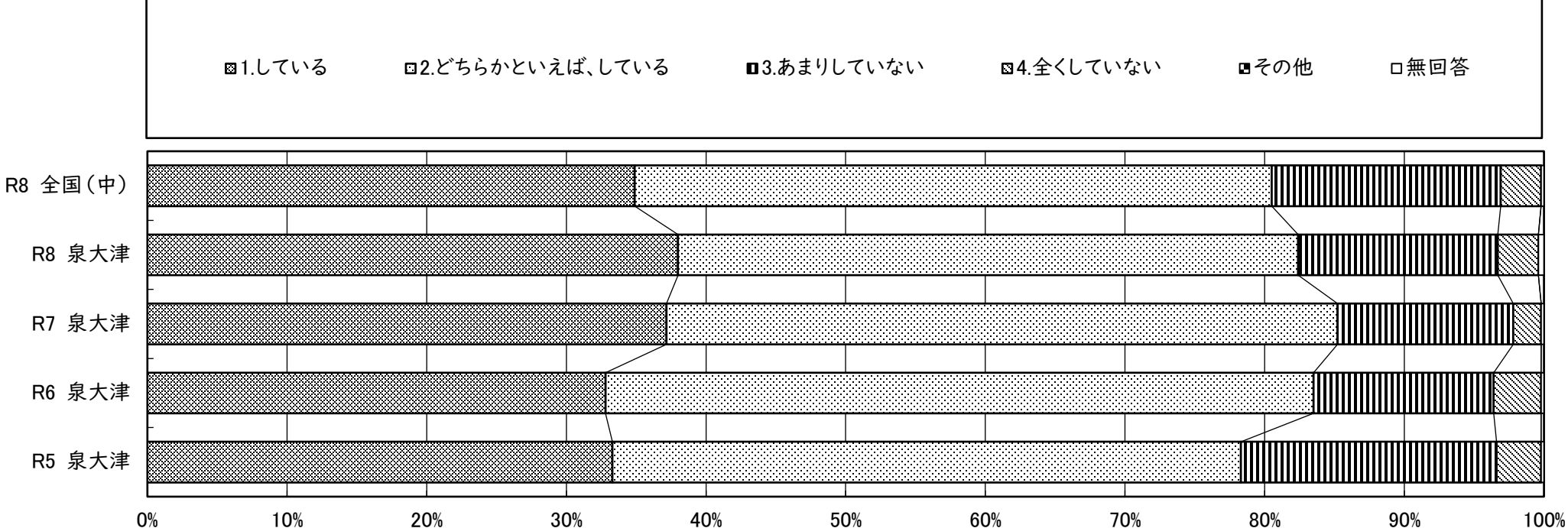


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

小学校

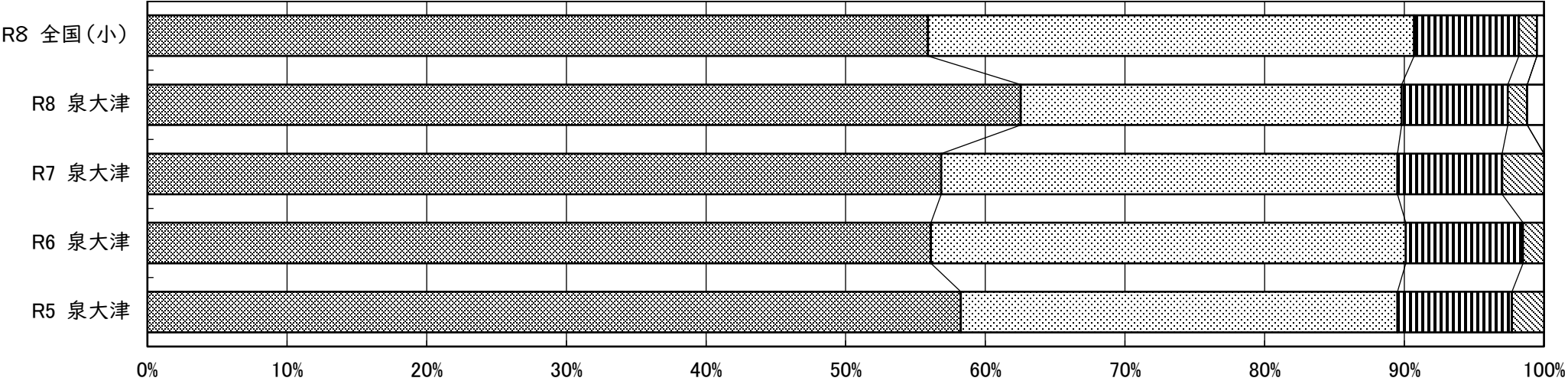


中学校

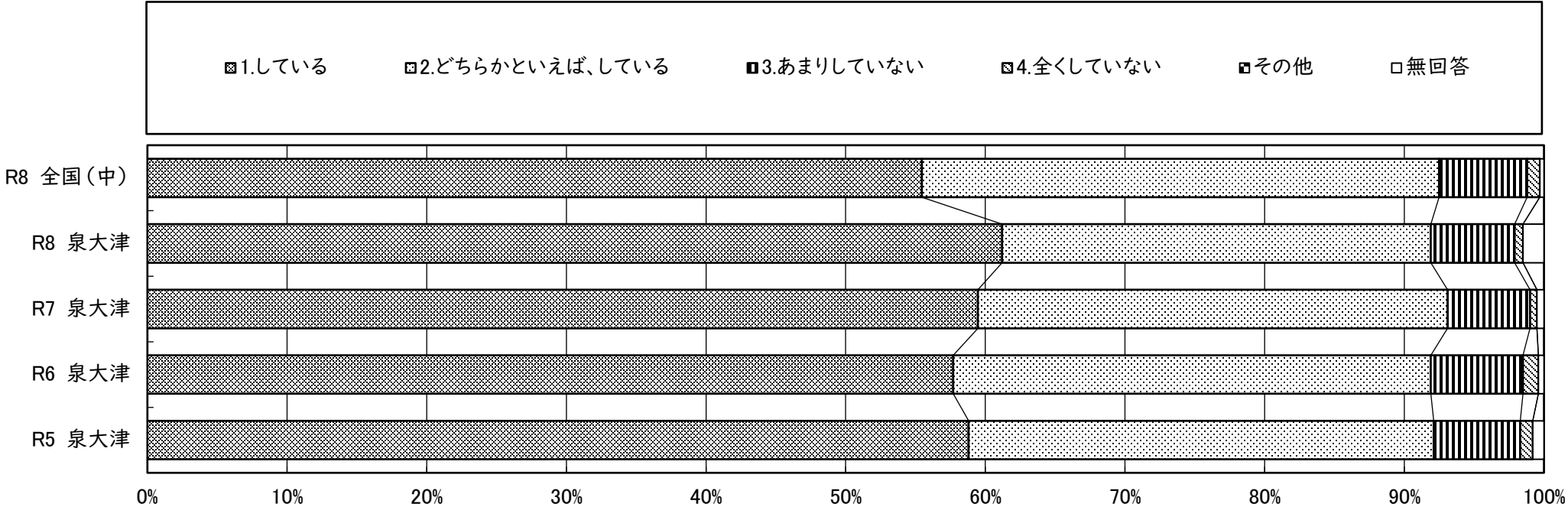


毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

小学校



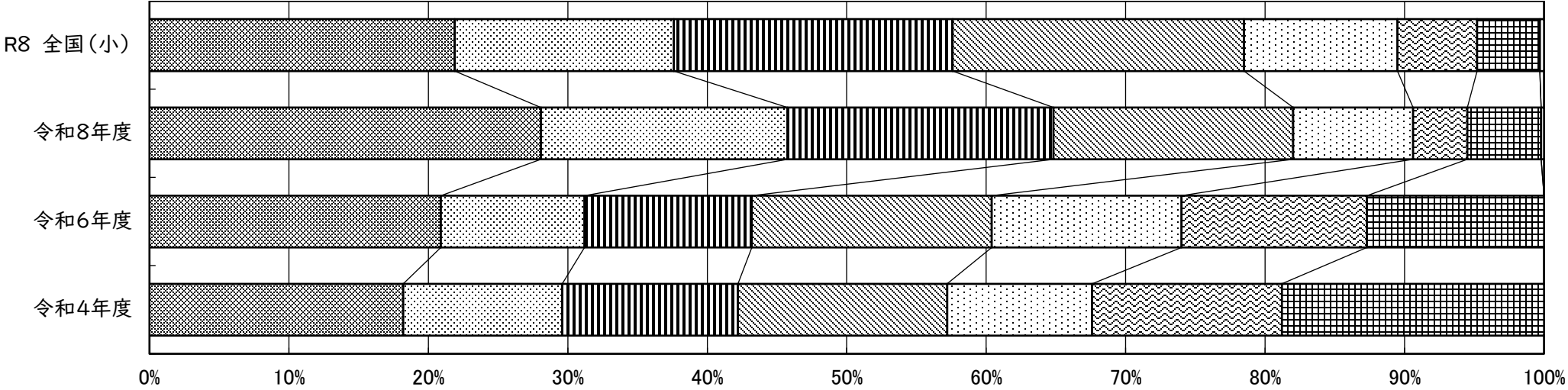
中学校



普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、
スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか

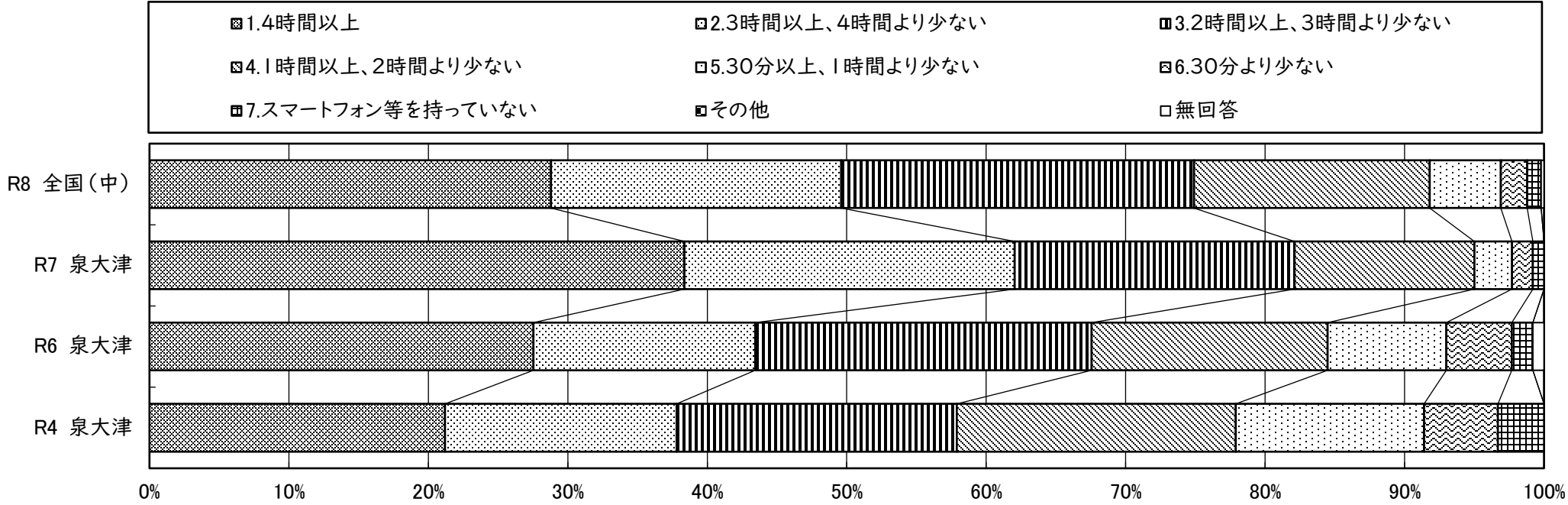
小学校

国 -0.14
算 -0.16



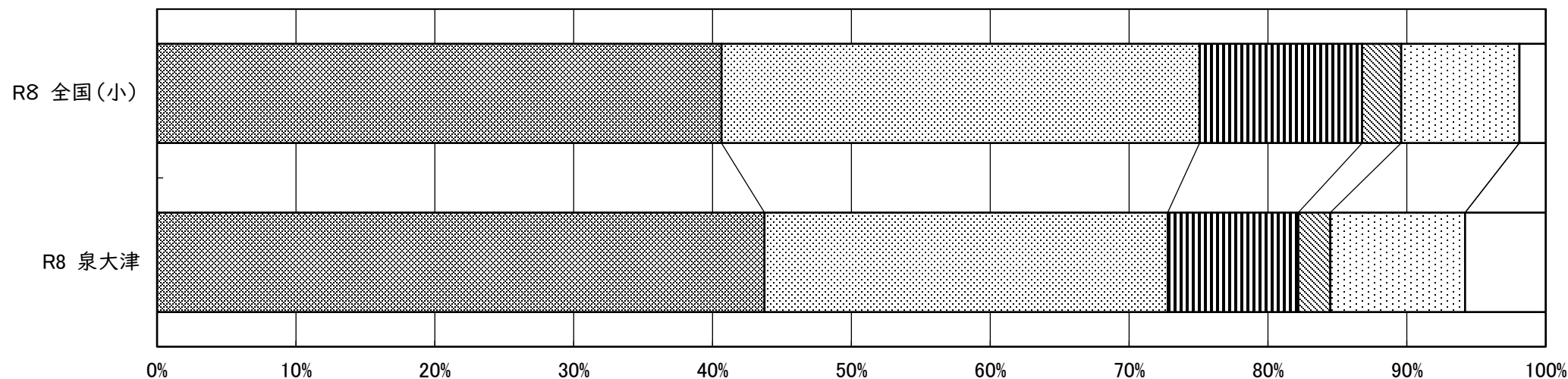
中学校

国 -0.17
数 -0.24
英 -0.21

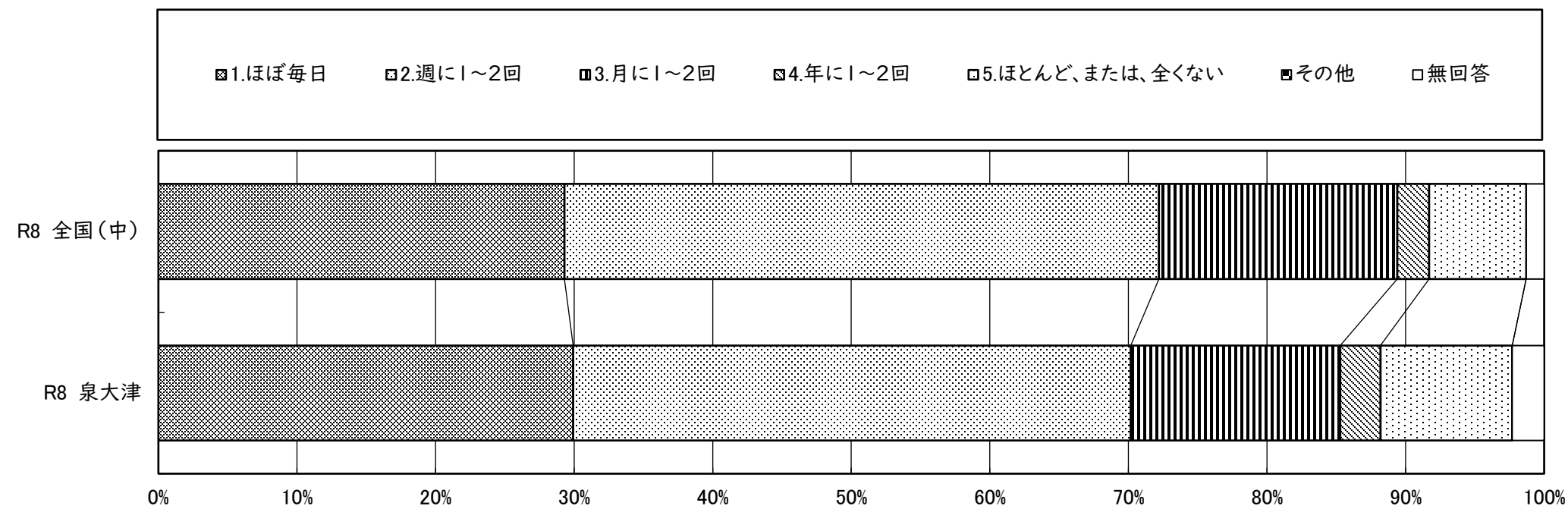


学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか

小学校



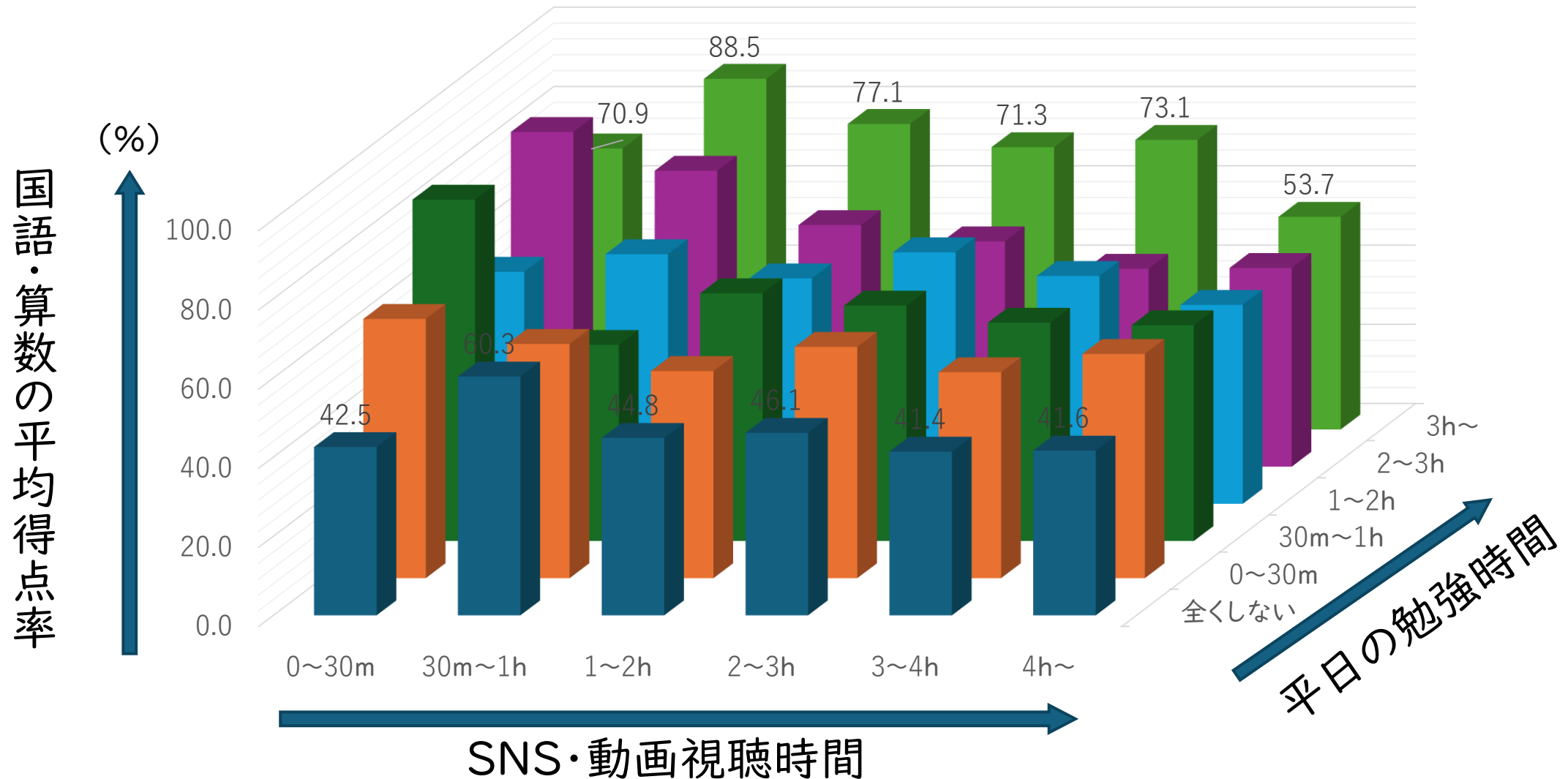
中学校



基本的生活習慣等について

小学校

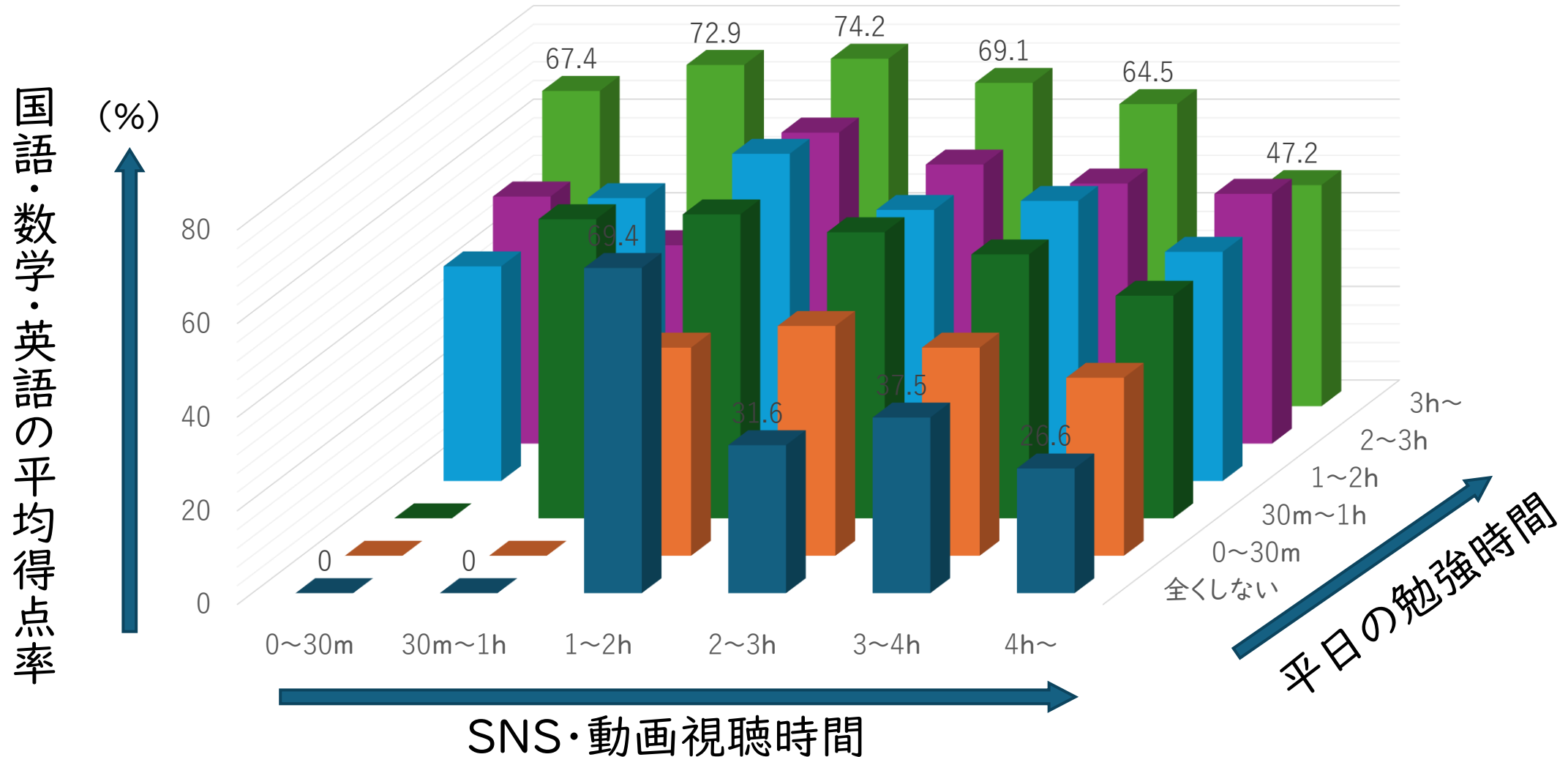
SNS・動画視聴時間×勉強時間×得点率



基本的生活習慣等について

中学校

SNS・動画視聴時間×勉強時間×得点率

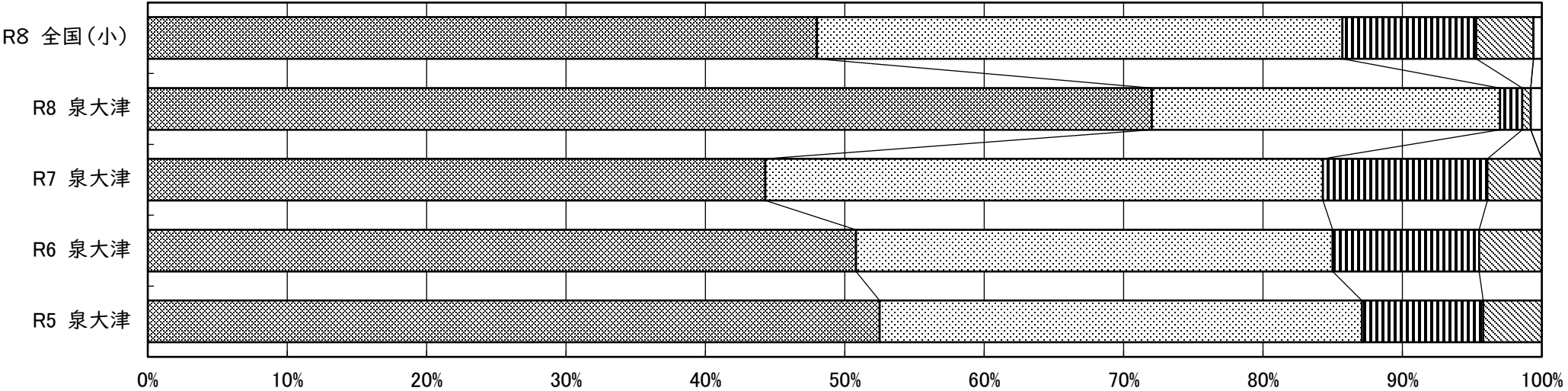


基本的な生活習慣等について

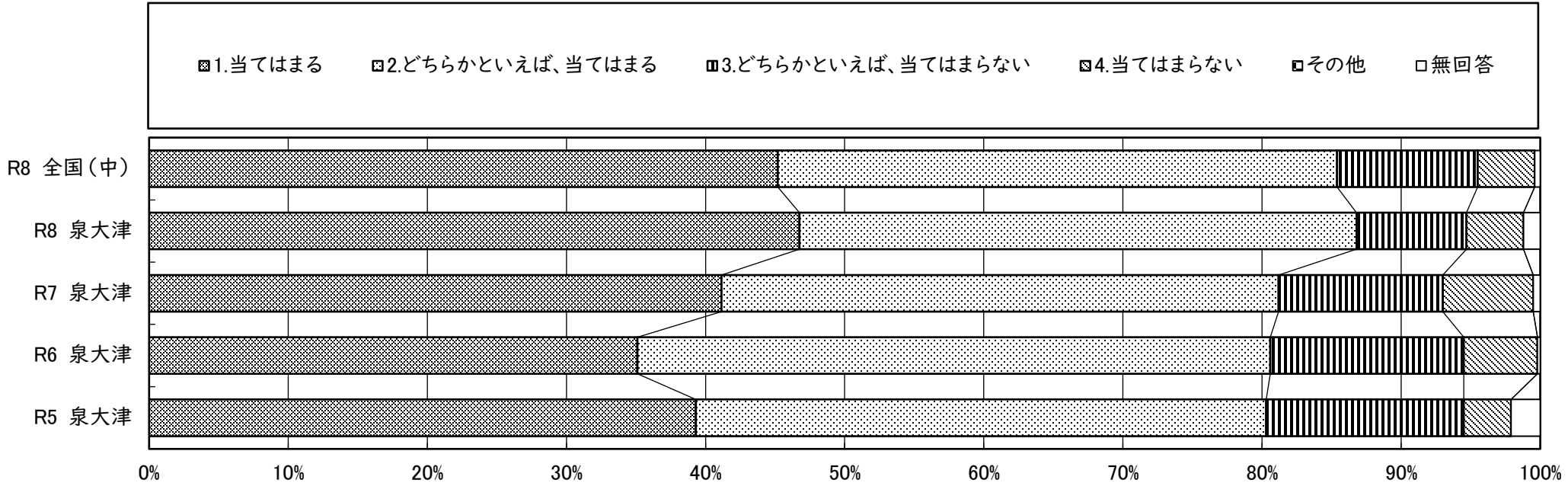
- 朝食をとる児童生徒の割合については、昨年度よりやや改善傾向にあります。
- 就寝起床時刻については、概ね安定しています。
- SNSの利用や動画視聴の時間が年々増加傾向にあり、全国と比較しても長時間の傾向があります。(4時間以上は学力への影響大)
- SNSの利用や動画視聴の時間と学力には マイナスの相関 がみられます。
- 家族等と勉強に関する会話をする児童生徒の割合については、全国と比較して やや二極化 しています。

学校に行くのは楽しいと思いますか

小学校

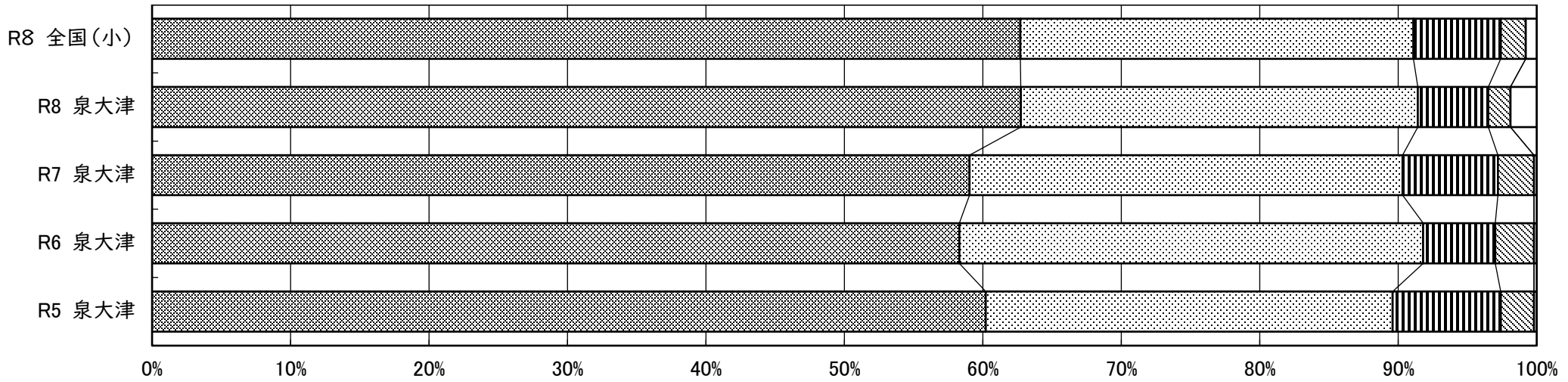


中学校

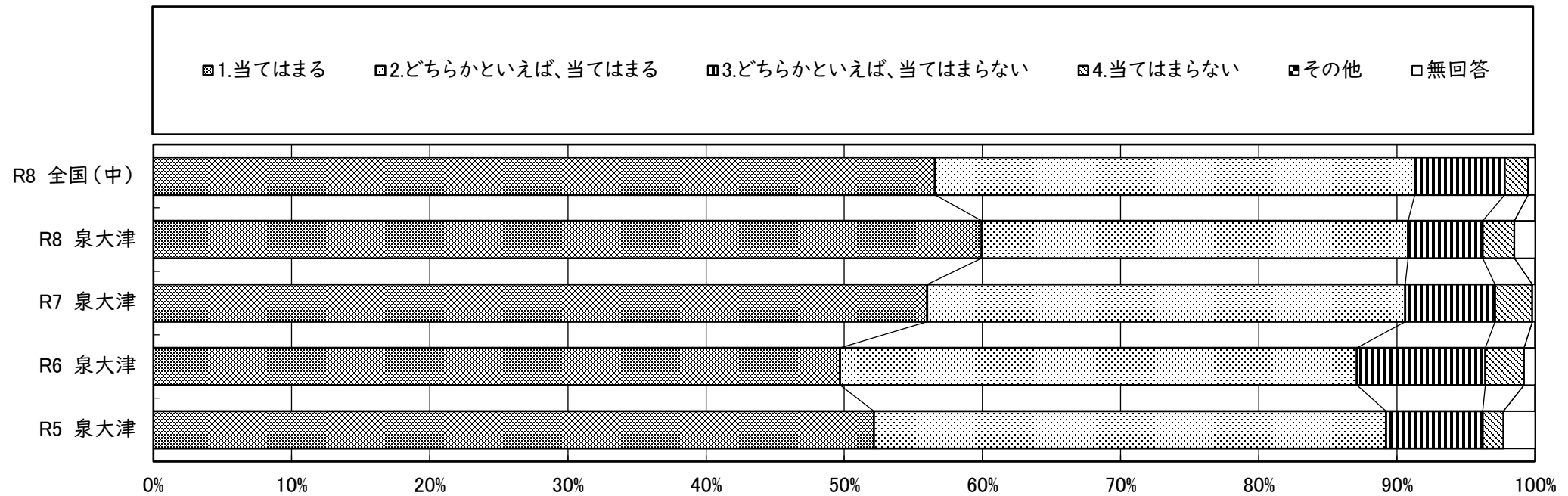


友達関係に満足していますか

小学校

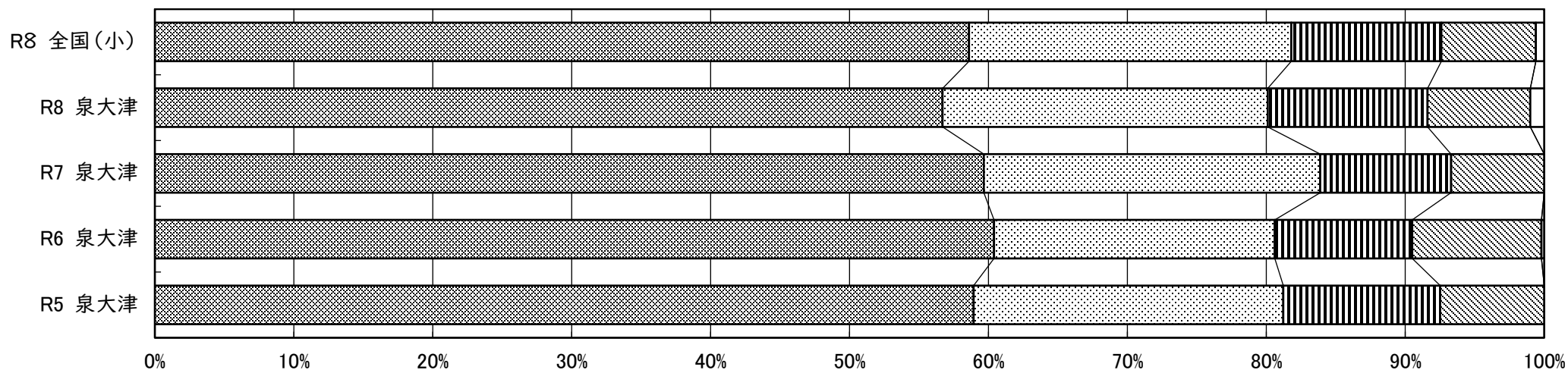


中学校

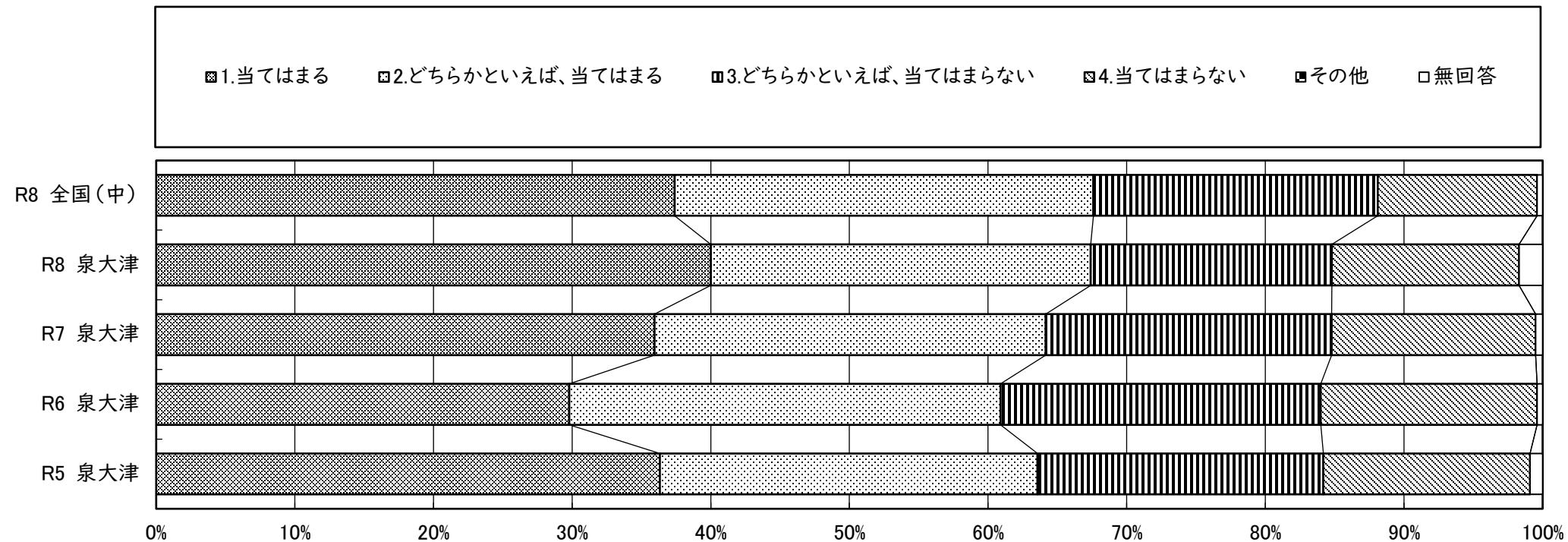


将来の夢や目標を持っていますか

小学校

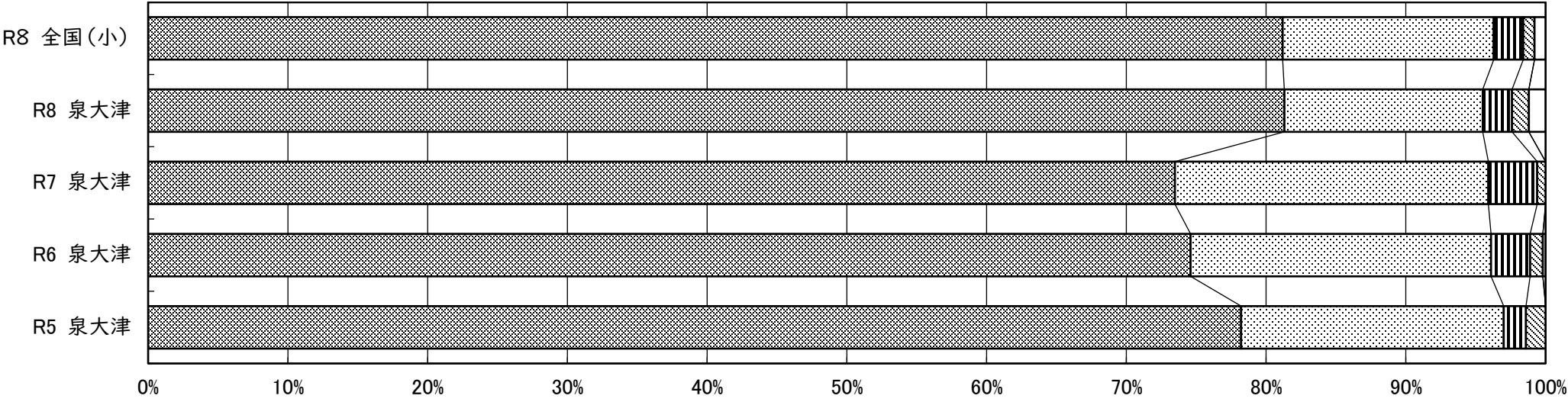
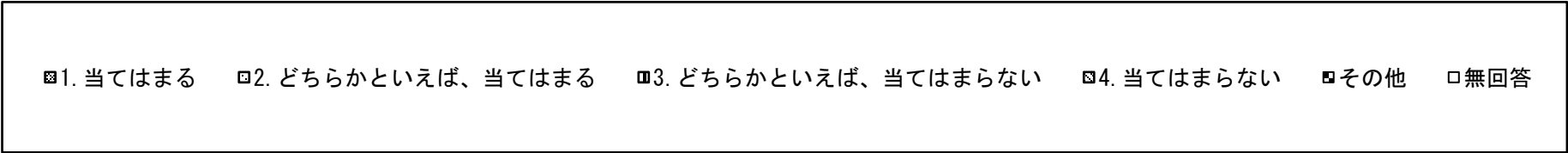


中学校

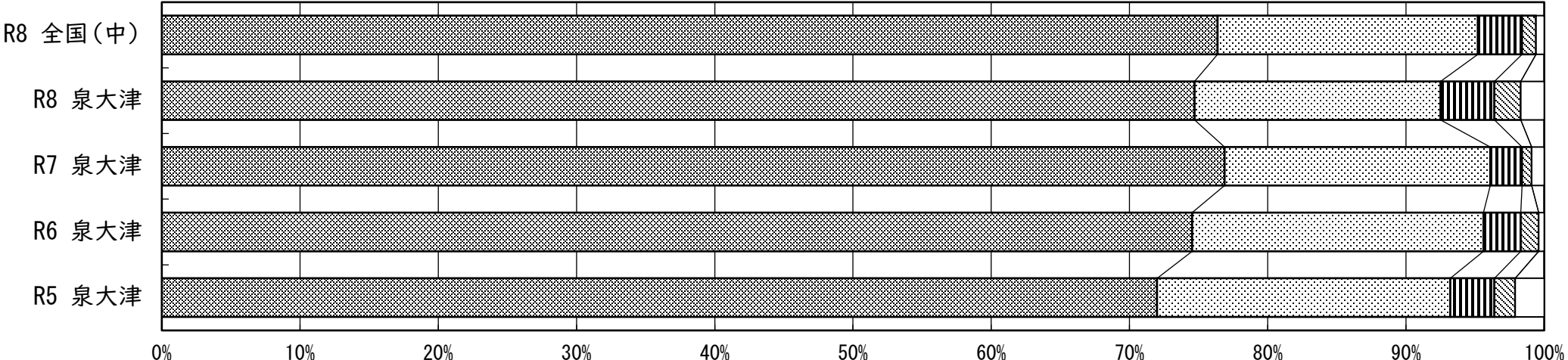


いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

小学校

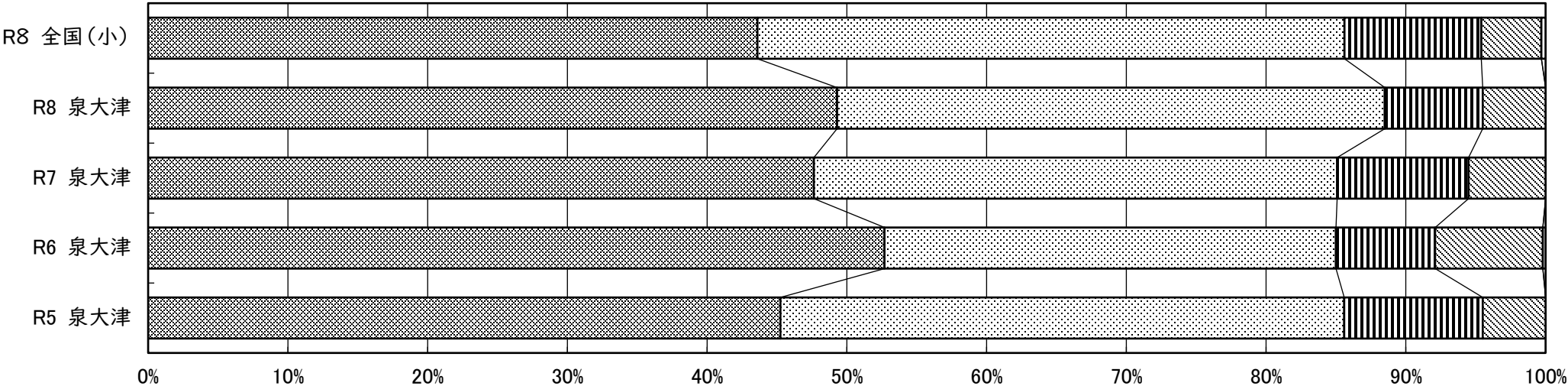


中学校

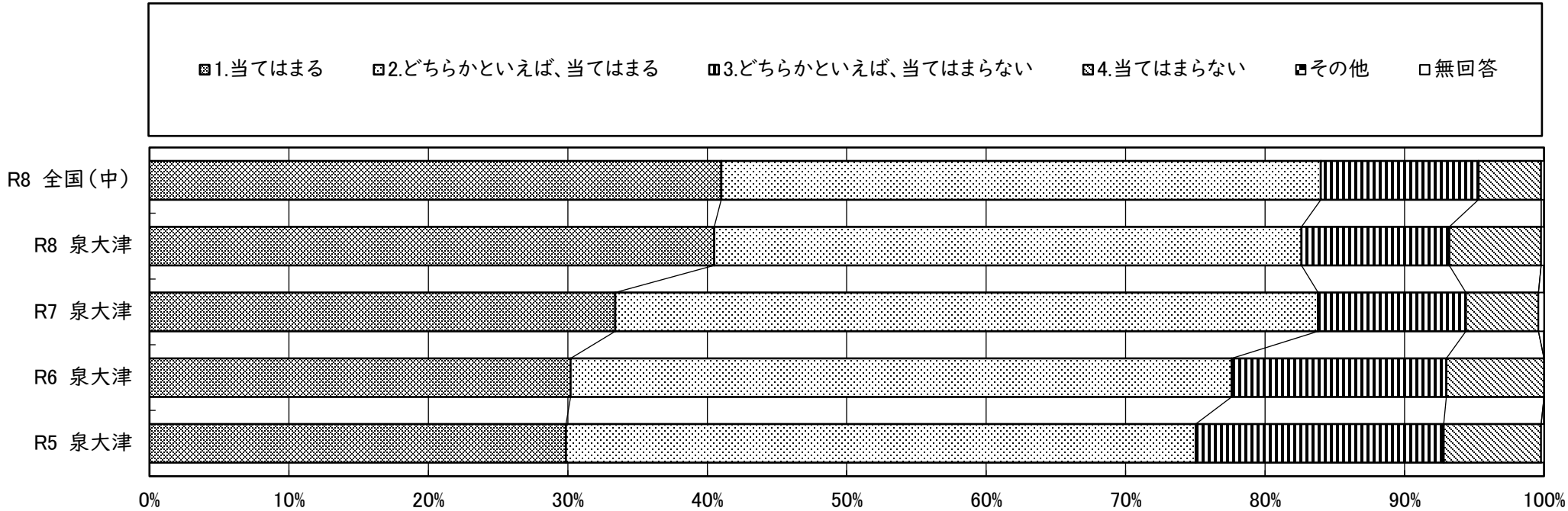


自分には、よいところがあると思いますか

小学校

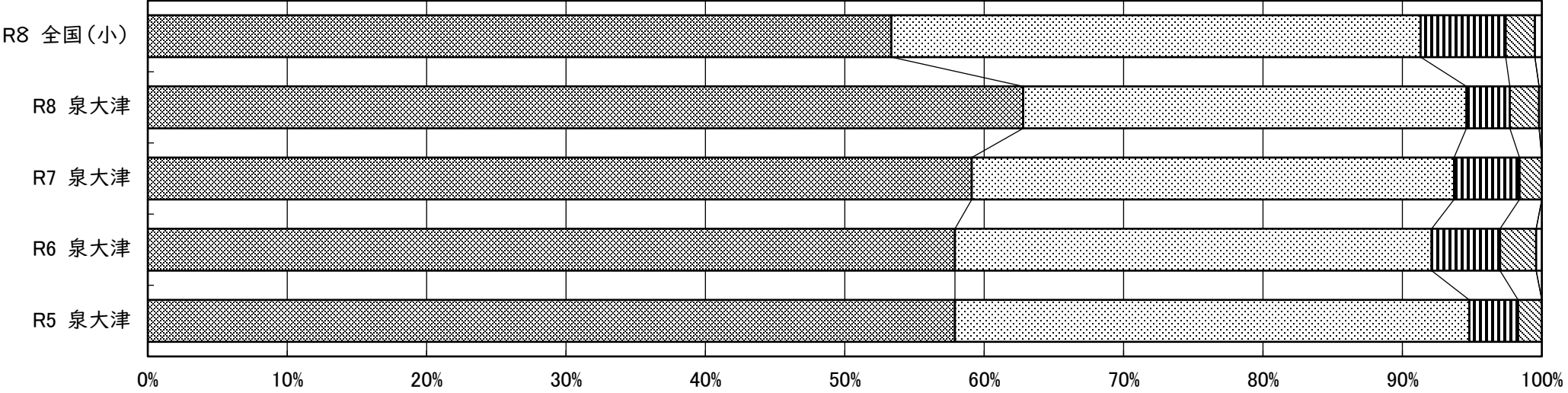


中学校

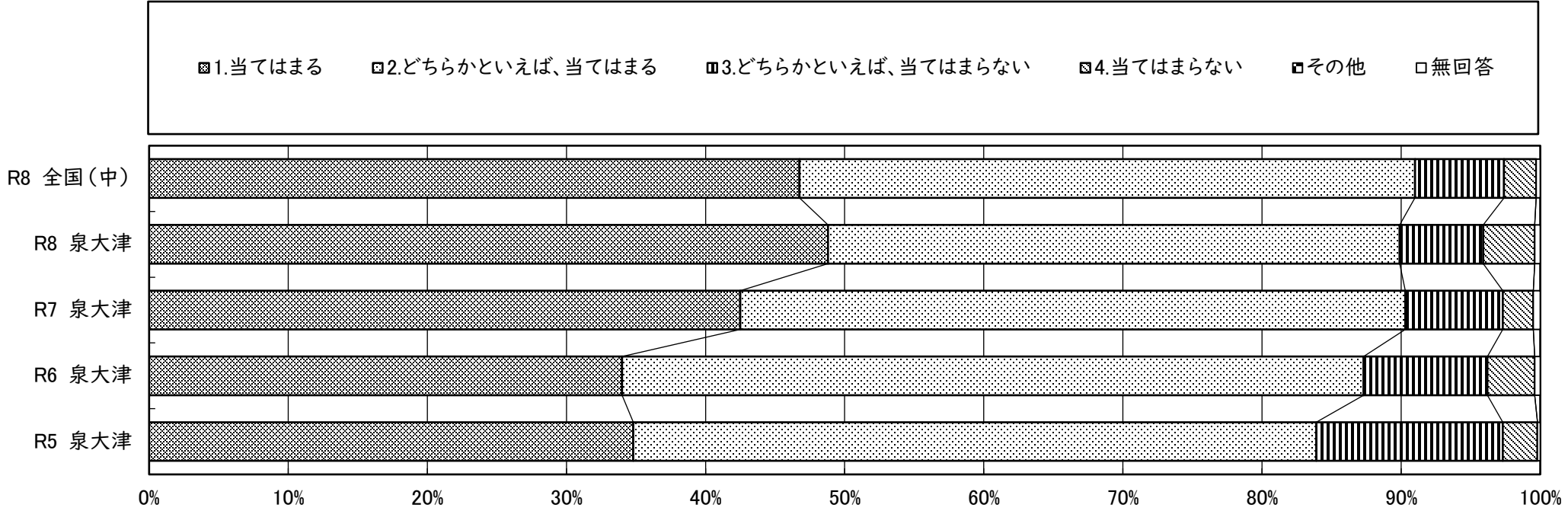


先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか

小学校

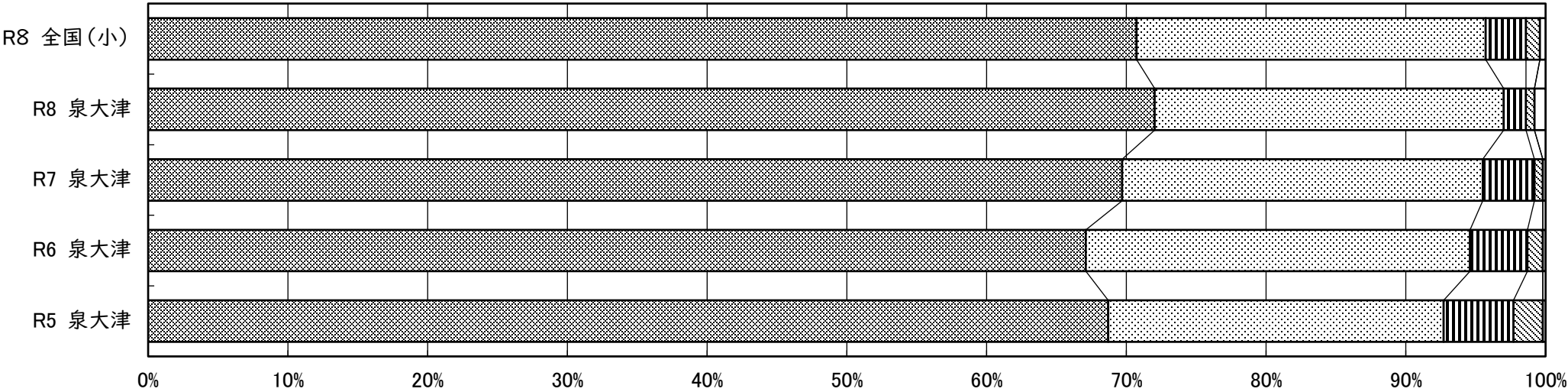


中学校

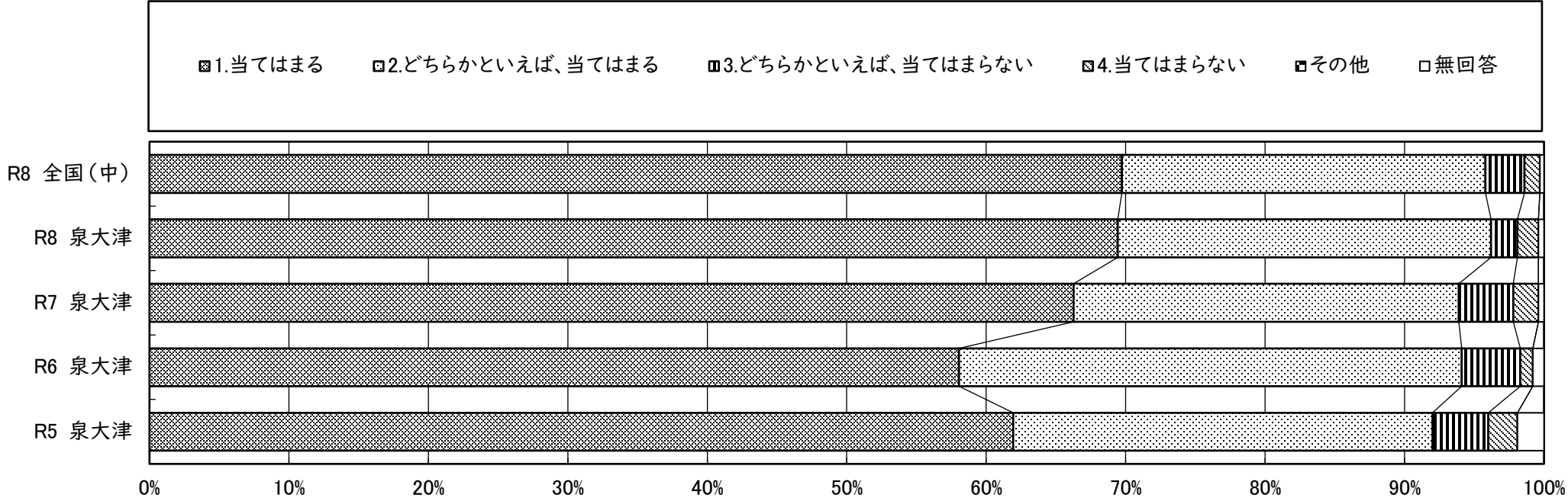


人の役に立つ人間になりたいと思いますか

小学校

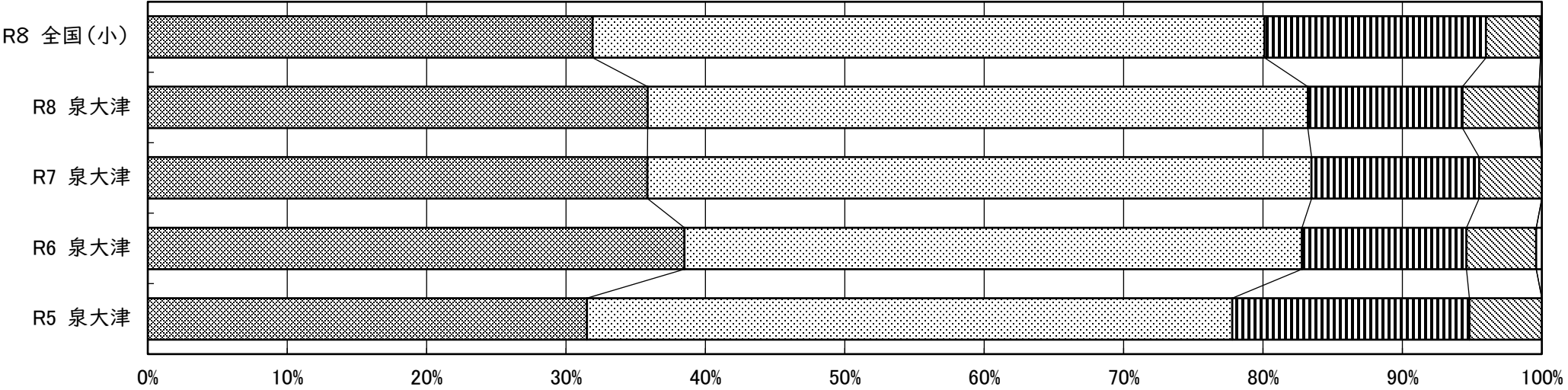


中学校

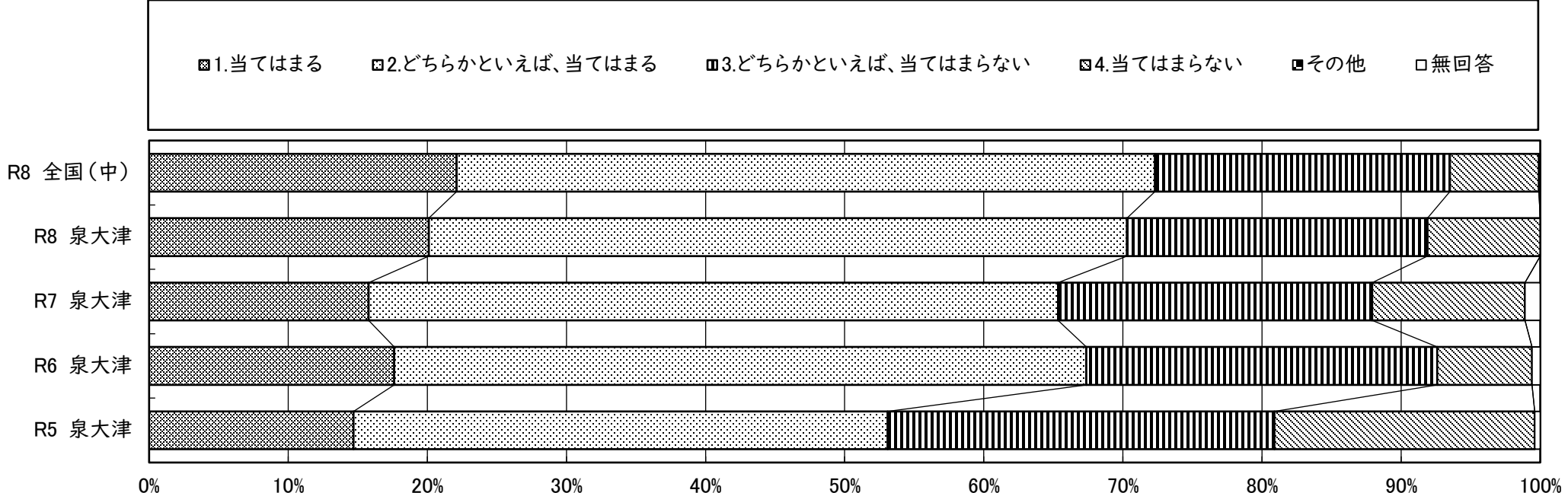


地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

小学校

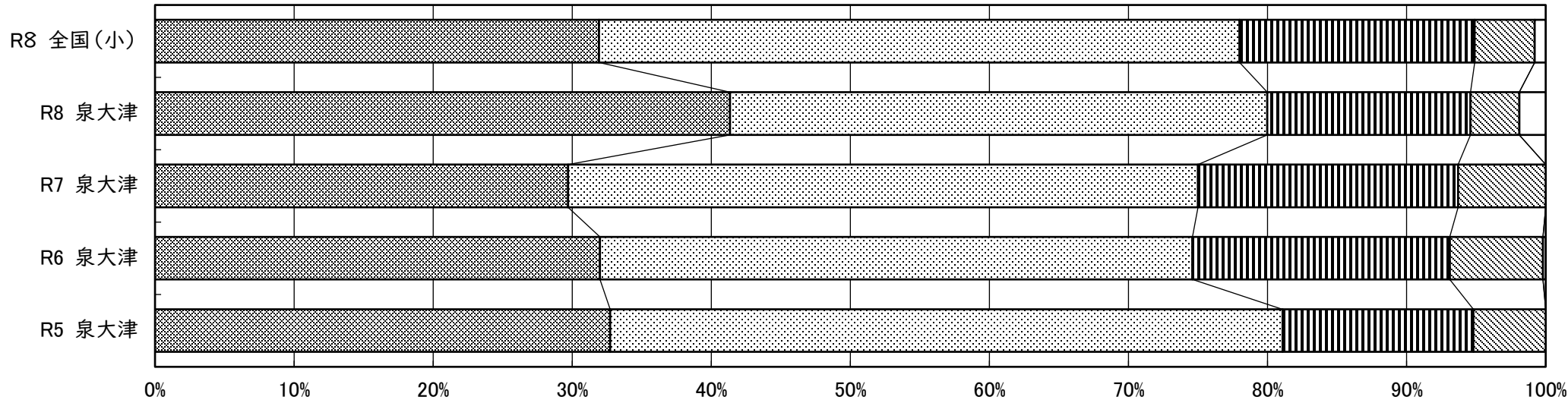


中学校



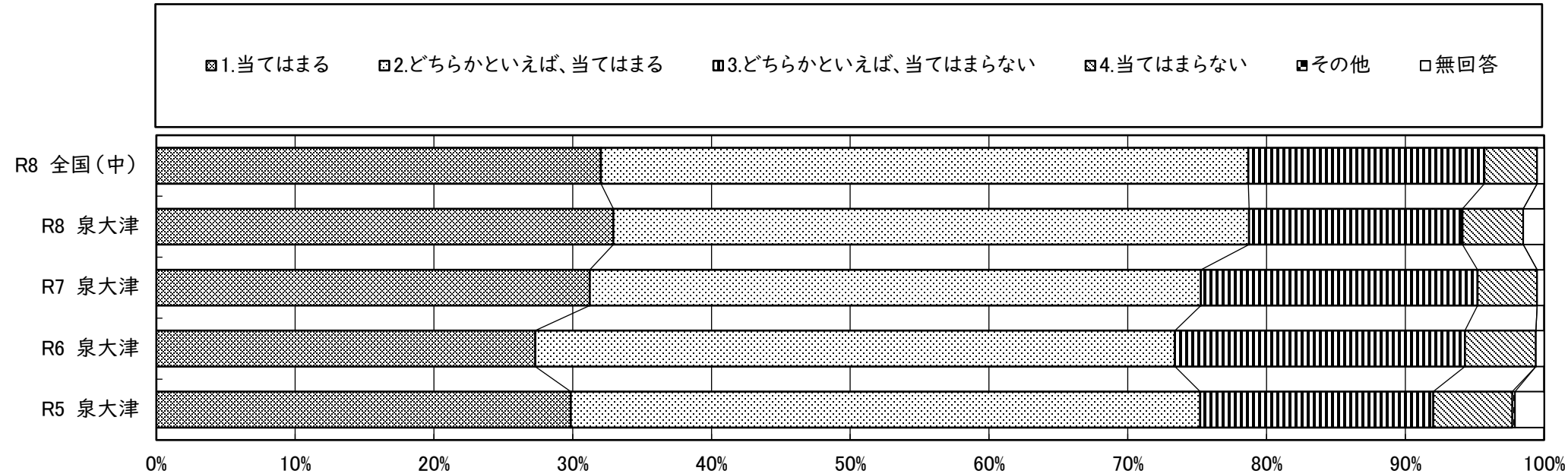
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

小学校



国 0.06
算 0.15
理 0.14

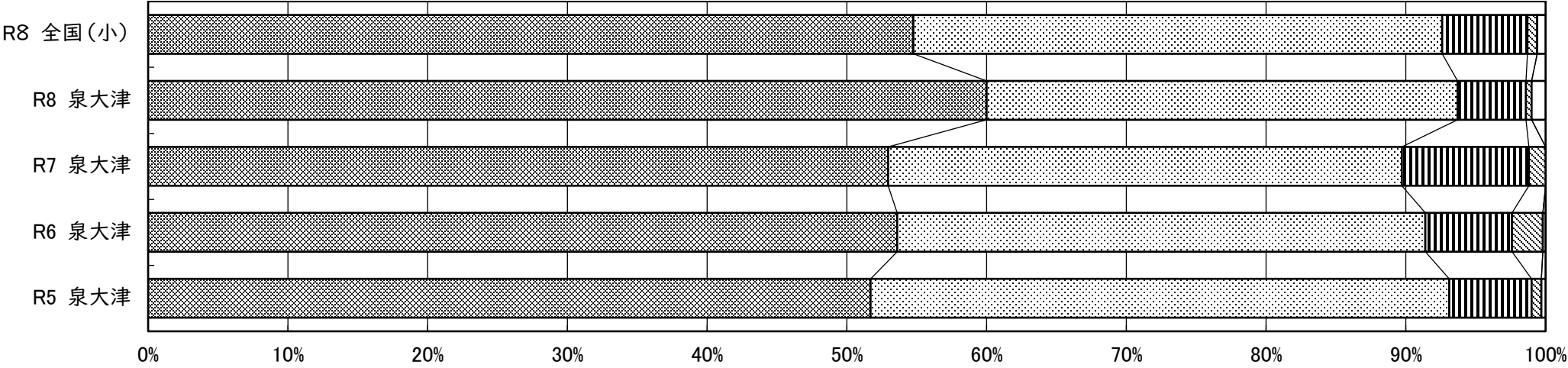
中学校



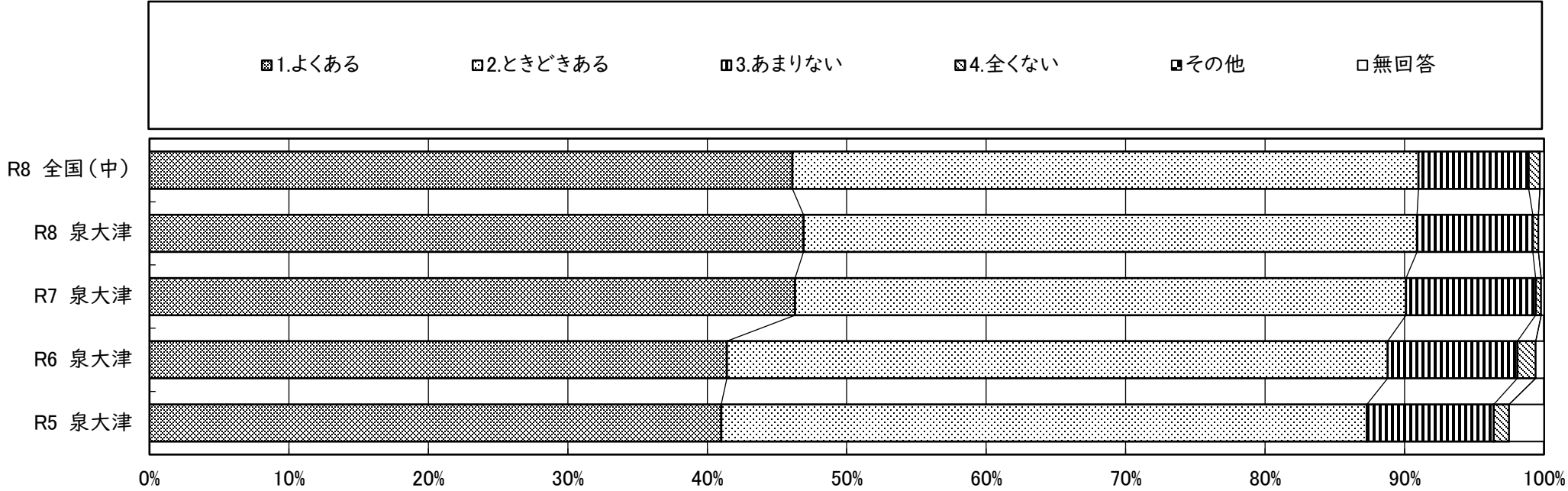
国 0.19
数 0.21
理 0.15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

小学校



中学校



挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感 地域や社会に関わる活動の状況 等

- 学校の楽しさ、友だち関係の満足度、幸せな気持ちになることについては概ね高い水準を保っていますが、そうではない児童生徒の背景を知ること等の子ども理解が大切です。
- 将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合が増加傾向にあります。学校での授業や活動、家庭での習い事、個人の趣味等が将来にどう結びつくのか、納得感や必要感について、継続的に意識していくことが重要です。
- 自己肯定感はおおむね高く、特に強い肯定の割合が増加しました。他者がよいところを認めてくれるかどうかと相関が強く、一人ひとりへの関わり方が重要です。
- 地域や社会をよくしたい、人の役に立ちたい児童生徒の割合は、コロナ禍と比べて概ね増加傾向にあります。

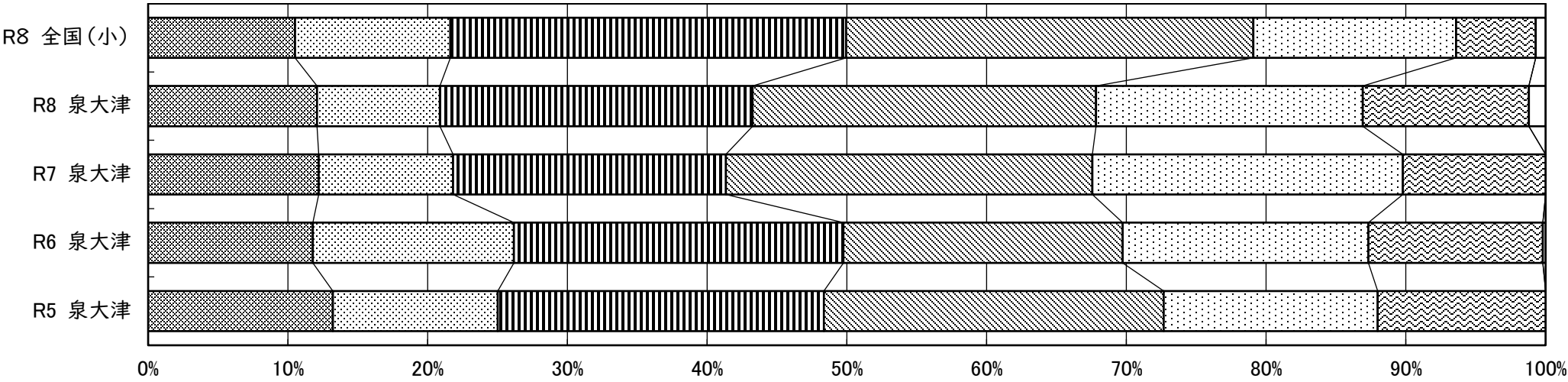
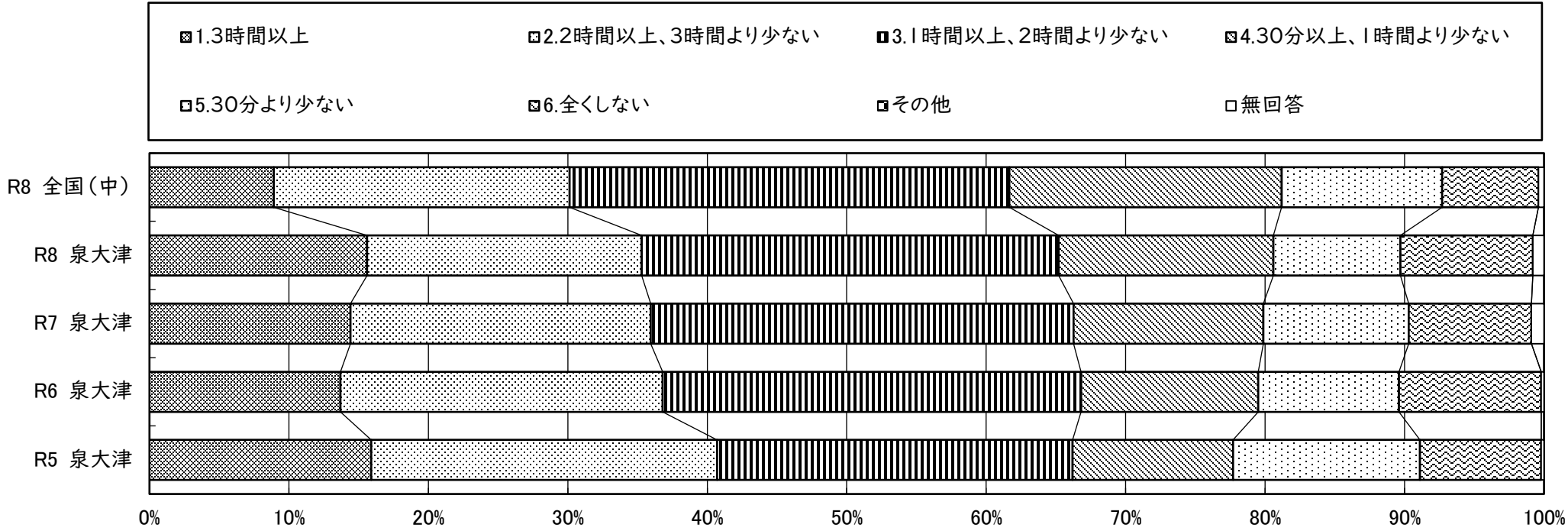
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校

国 0.17
算 0.27

国 0.17
数 0.23
英 0.26

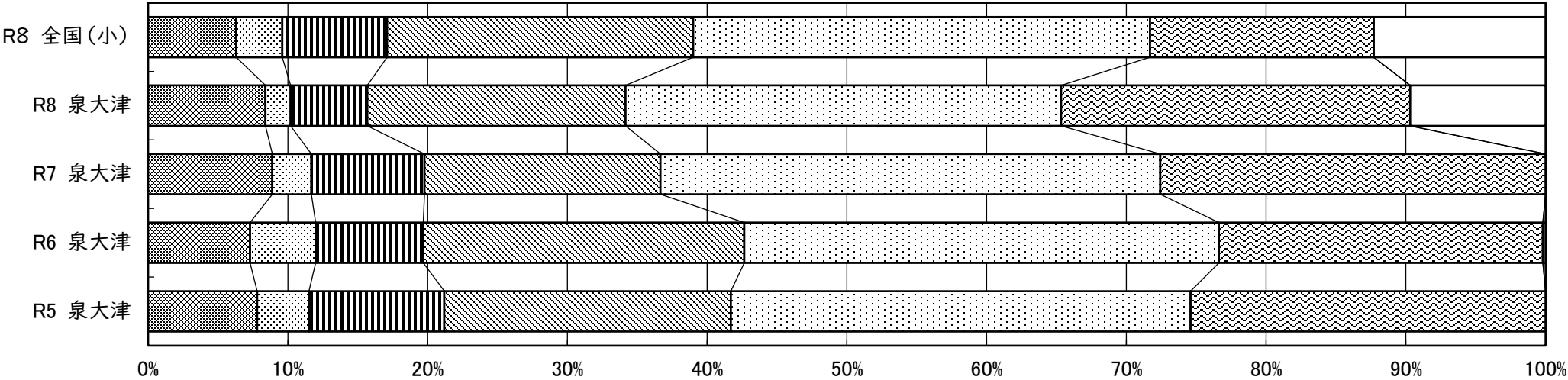
中学校



土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

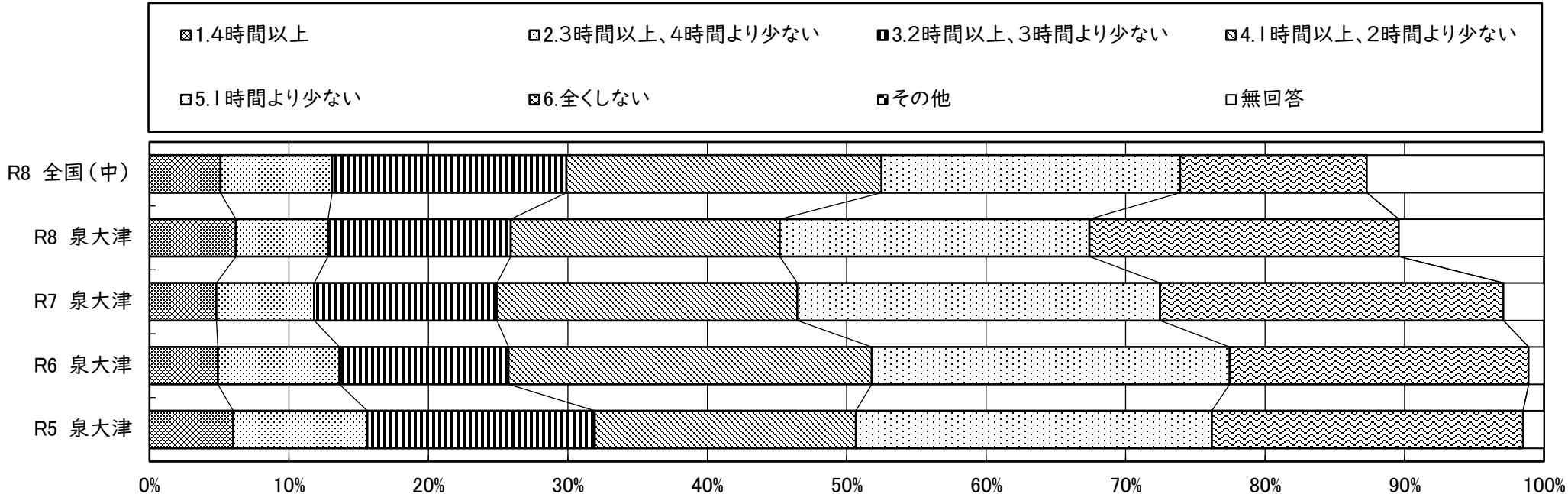
小学校

国 0.16
算 0.20



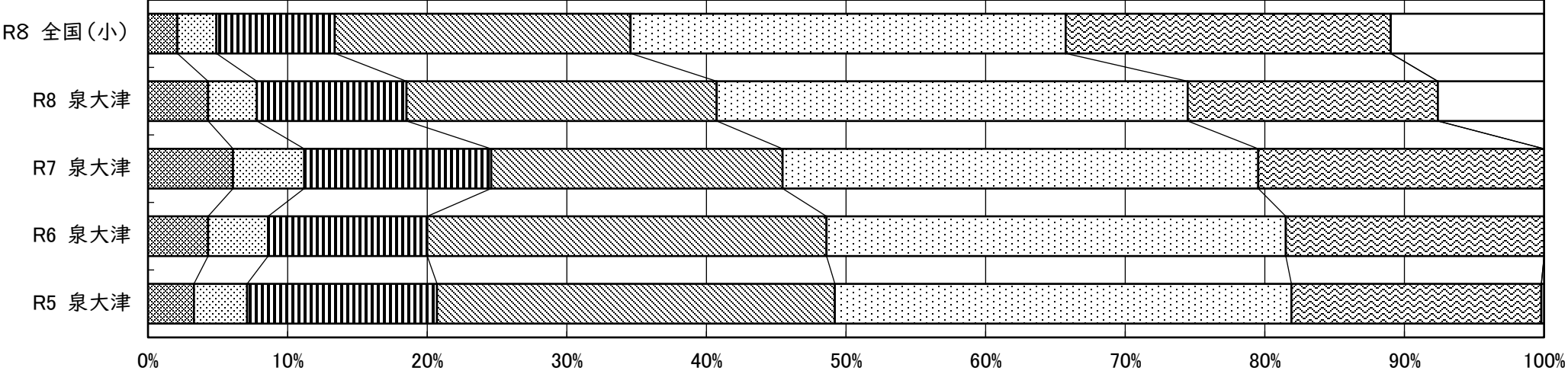
中学校

国 0.14
数 0.18
英 0.27

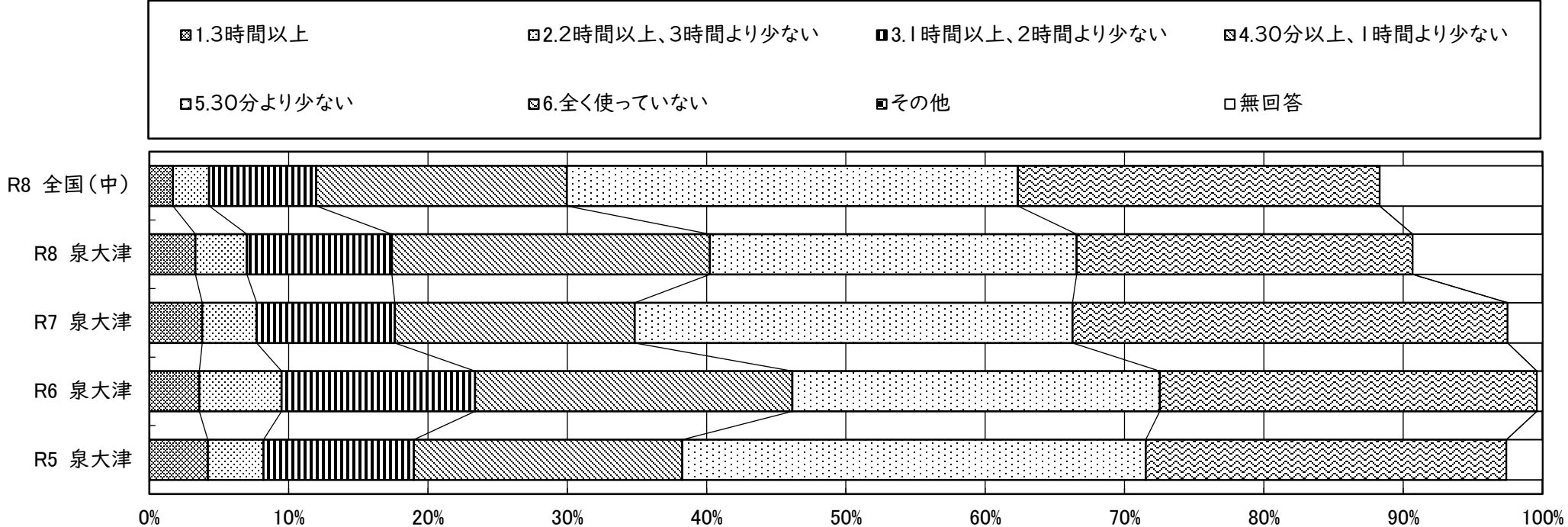


学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

小学校

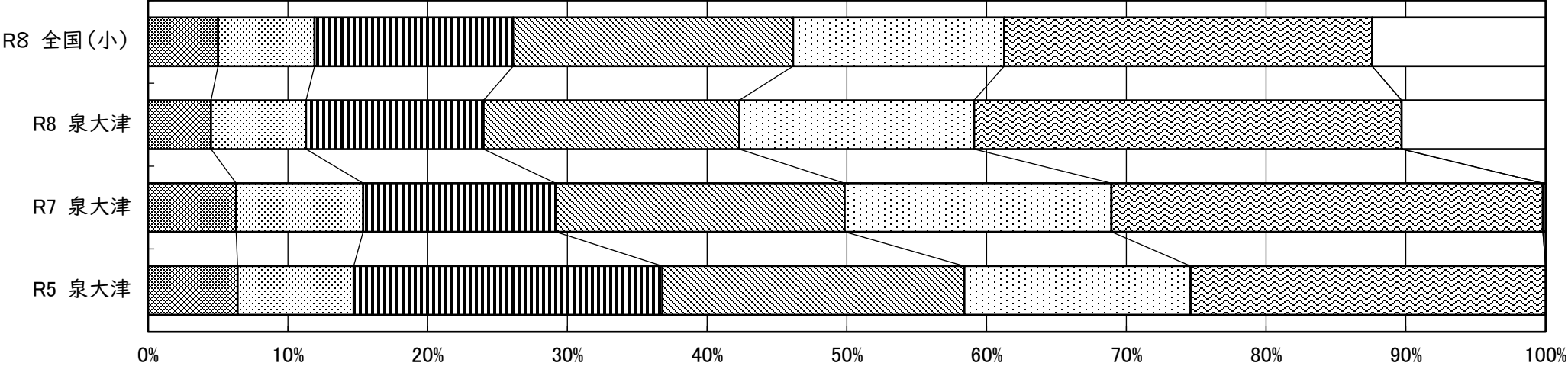


中学校

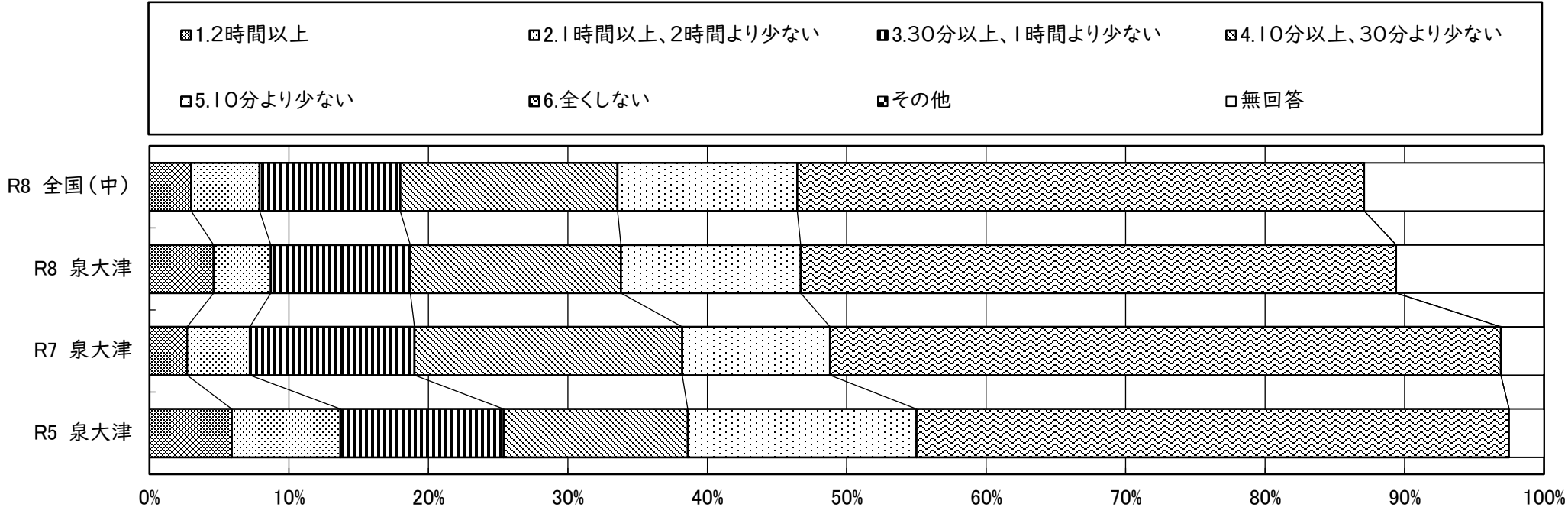


学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

小学校

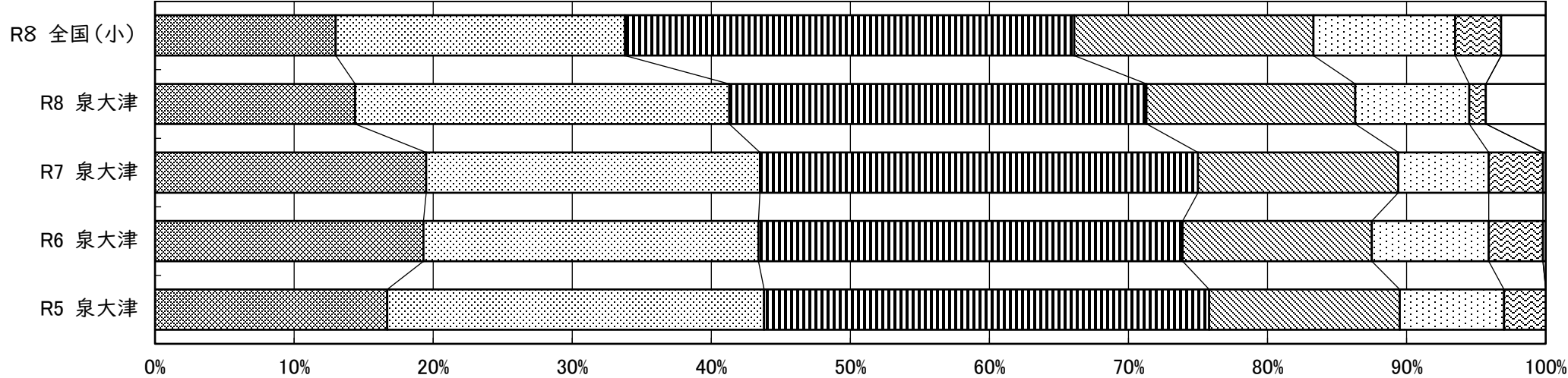


中学校



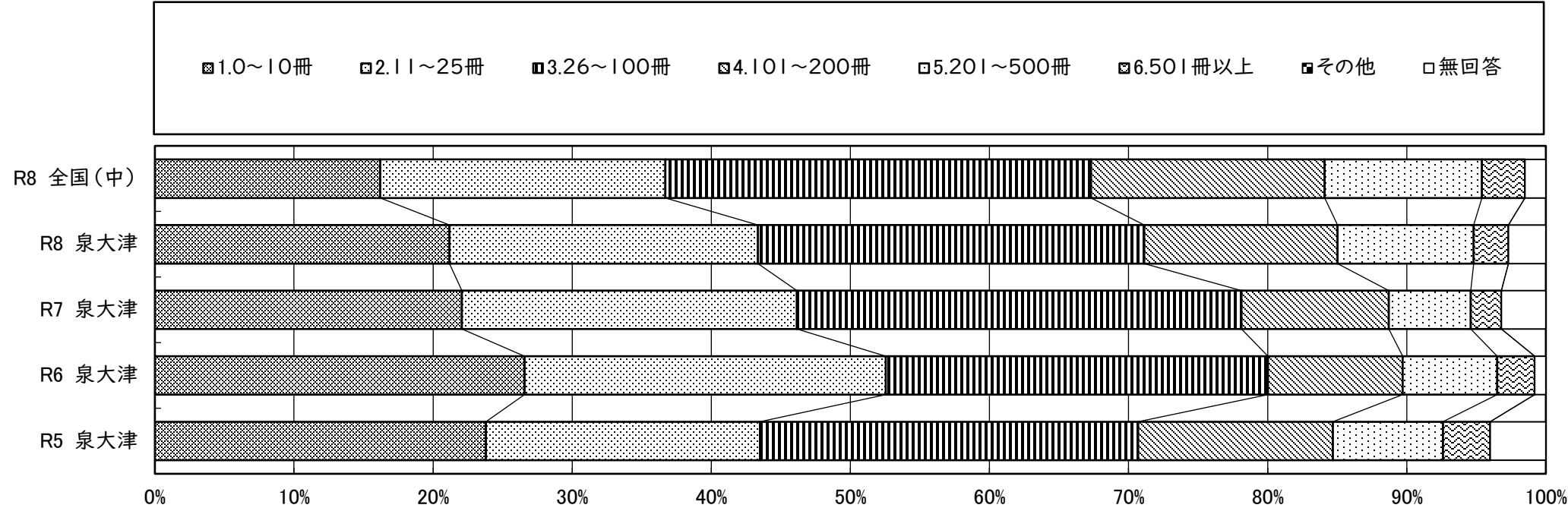
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）

小学校



国 0.18
算 0.25

中学校



国 0.22
数 0.25
英 0.26

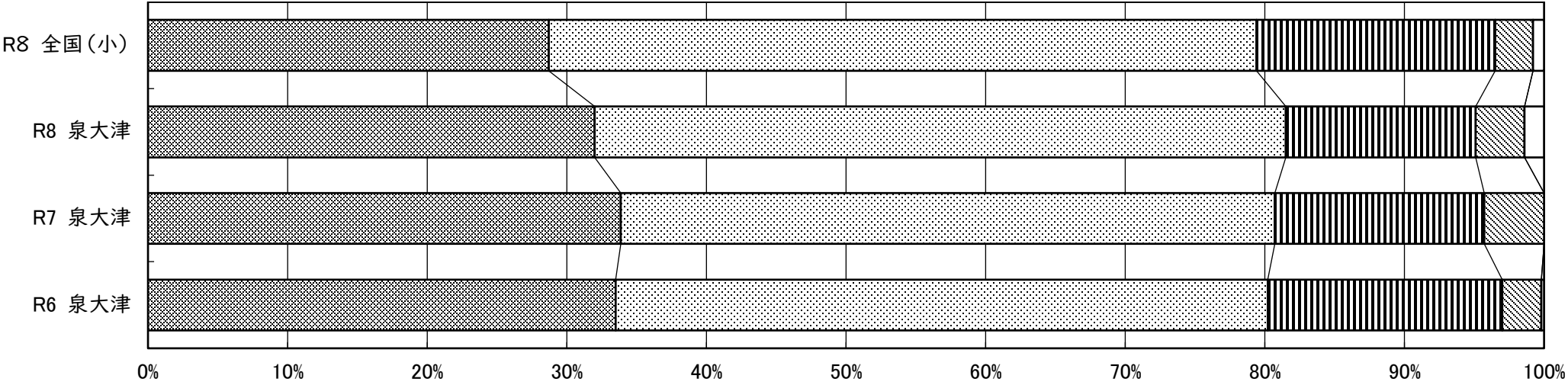
学習習慣、学習環境等

- 学習時間については、平日で横ばい、休日で減少の傾向にあります。
また、やや二極化の傾向がみられます。学ぶ意義については児童生徒および保護者でも、全国的に意識の変化が見られるようですが、授業における動機付けが改めて重要になってきています。
- 本が充実している等の、語彙の形成や想像力育成のための環境が、
各教科の正答数と強い相関を示しています。
→ 泉大津市においても学校図書館法や学校図書館図書標準に則り、公立
図書館シープラや各学校図書館の蔵書数の確保や、蔵書構成比率を意識
した配架を心掛けています。

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

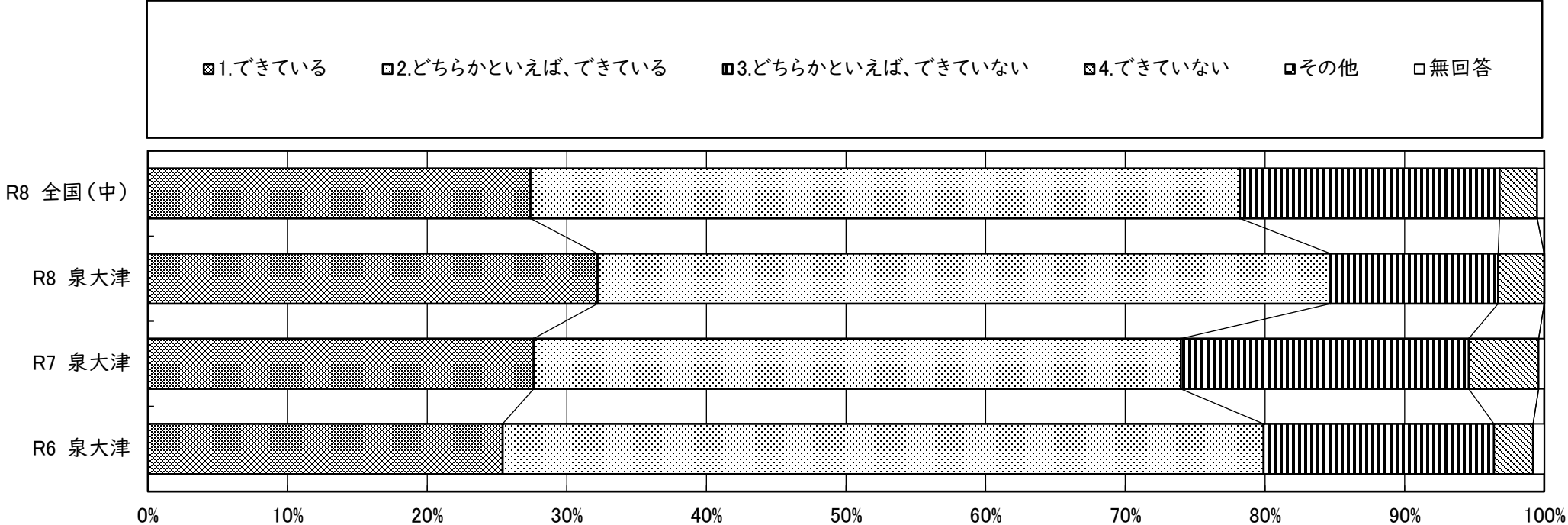
小学校

国 0.09
算 0.15



中学校

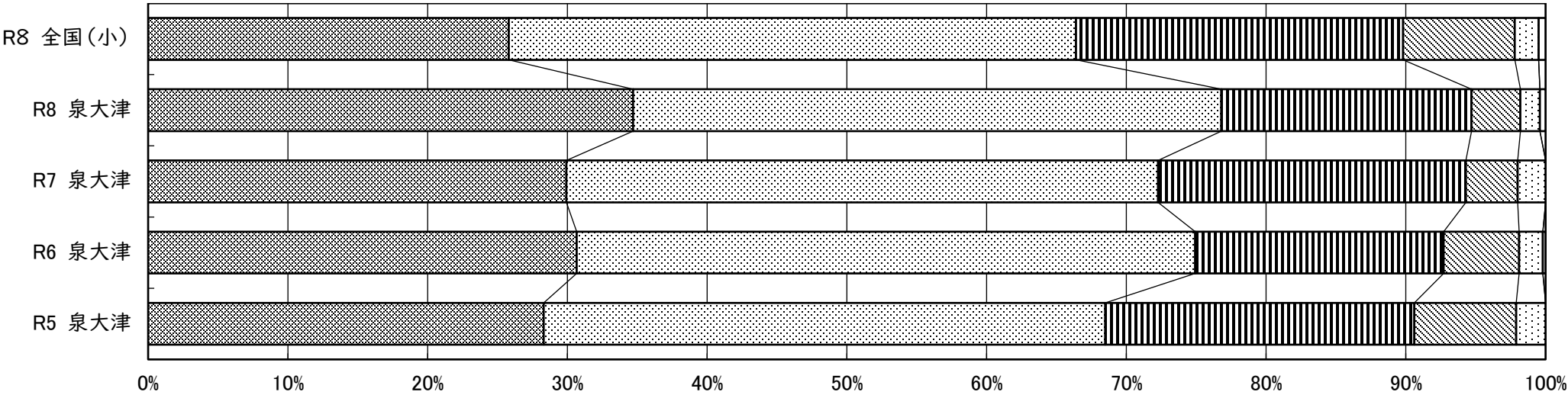
国 0.18
数 0.19
英 0.21



5年生（1・2年生）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

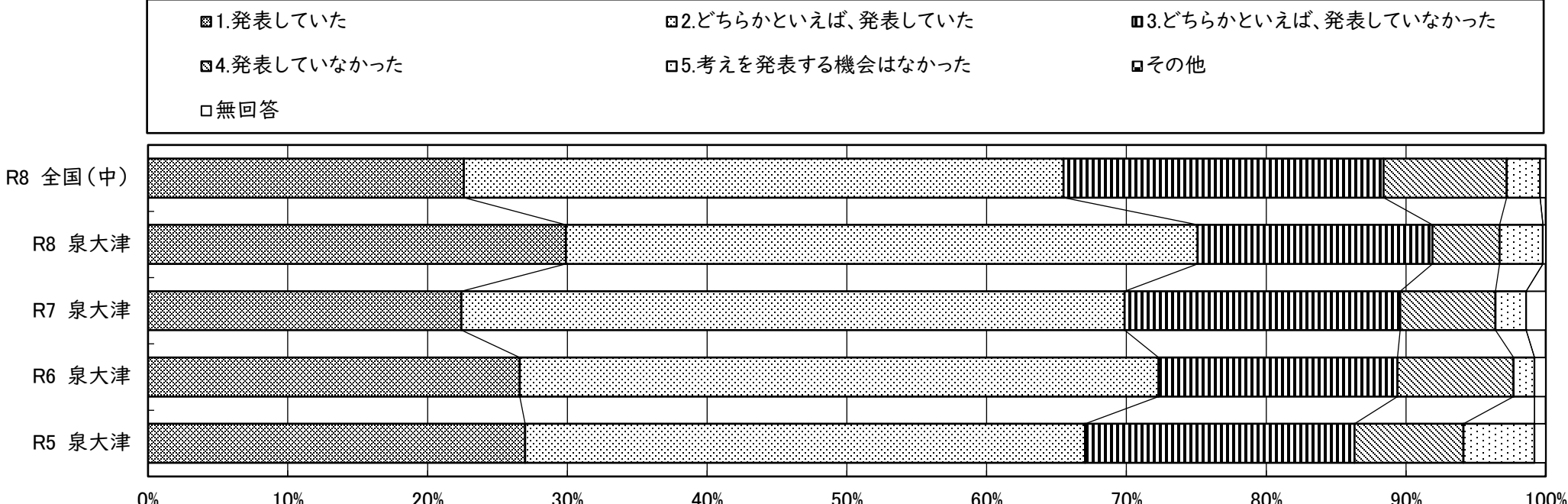
小学校

国 0.14
算 0.16



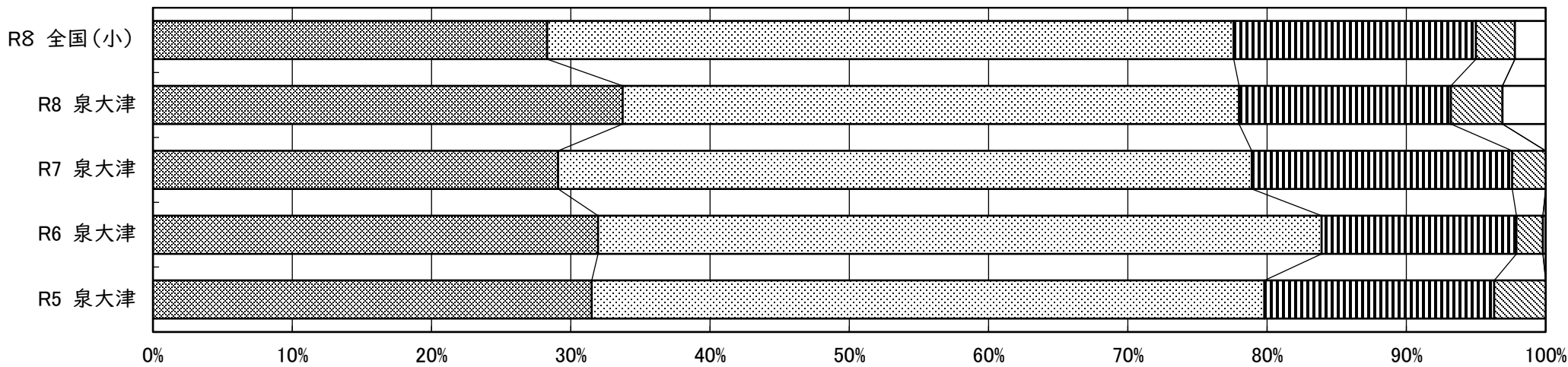
中学校

国 0.29
数 0.28
理 0.27



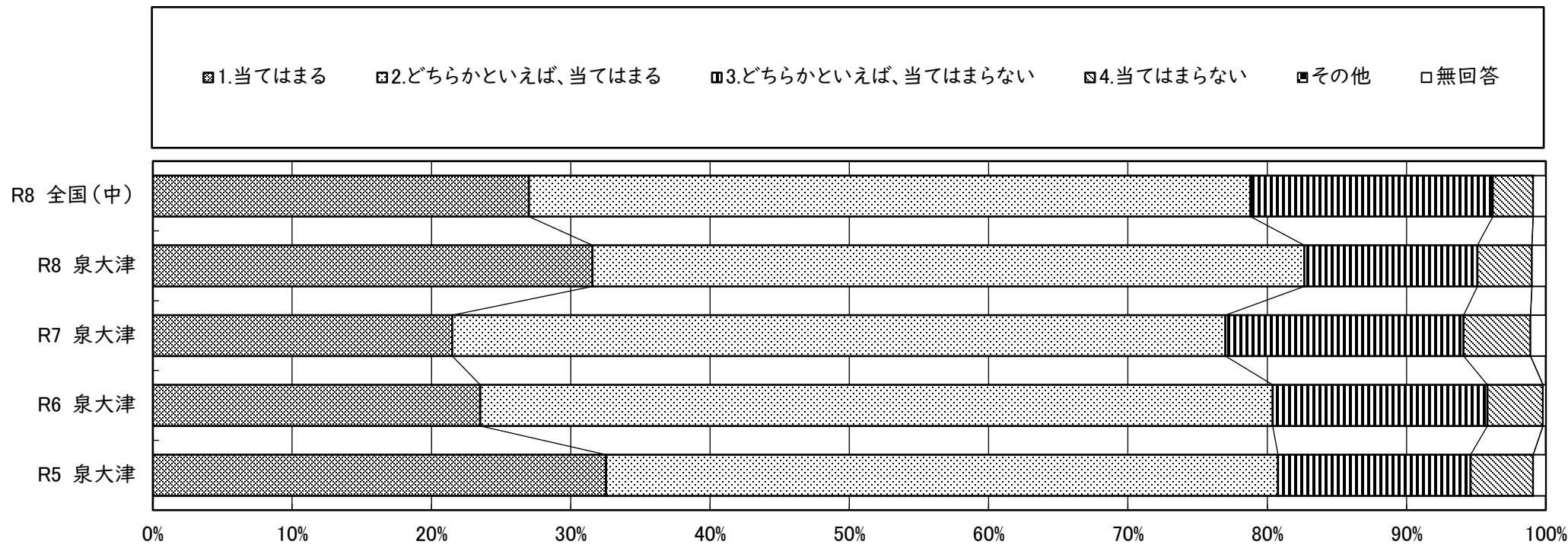
5年生（1・2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学校



国 0.11
算 0.16

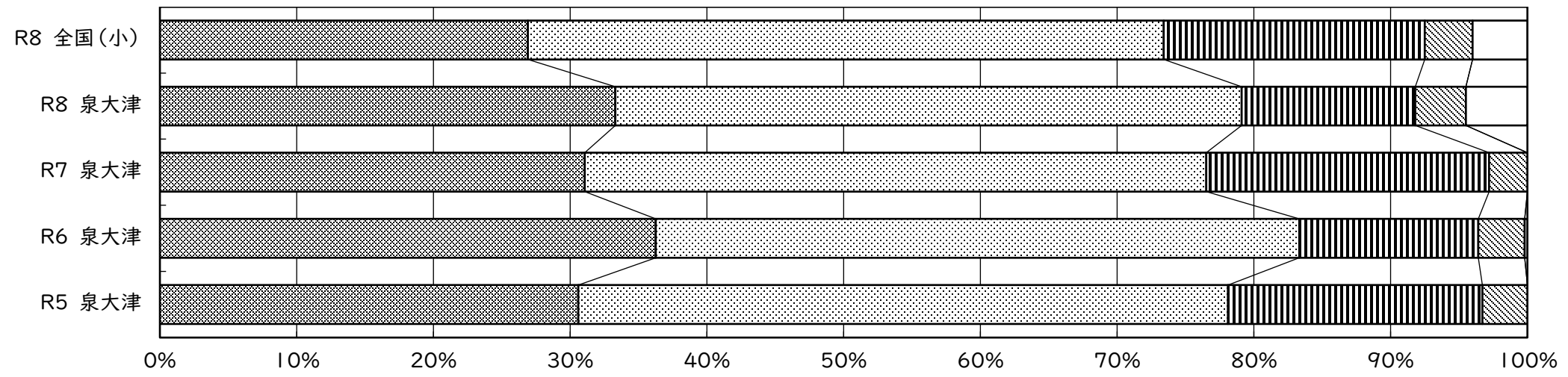
中学校



国 0.26
数 0.29
英 0.28

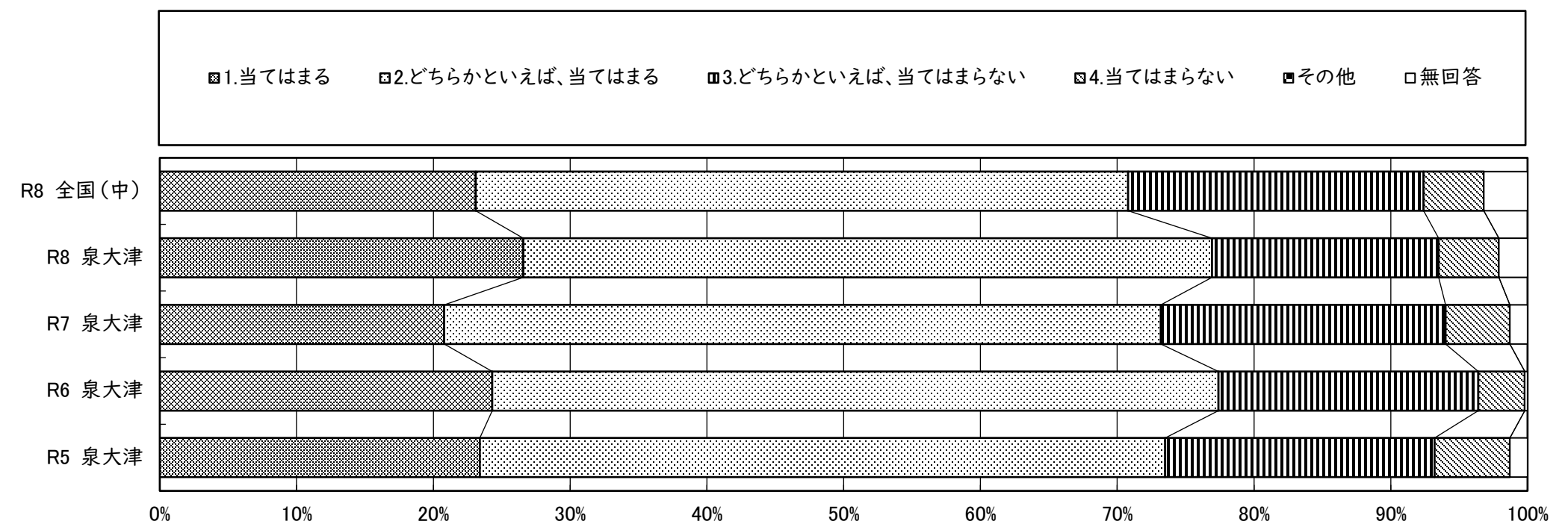
5年生（1・2年生）までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

小学校



国 0.12
算 0.13

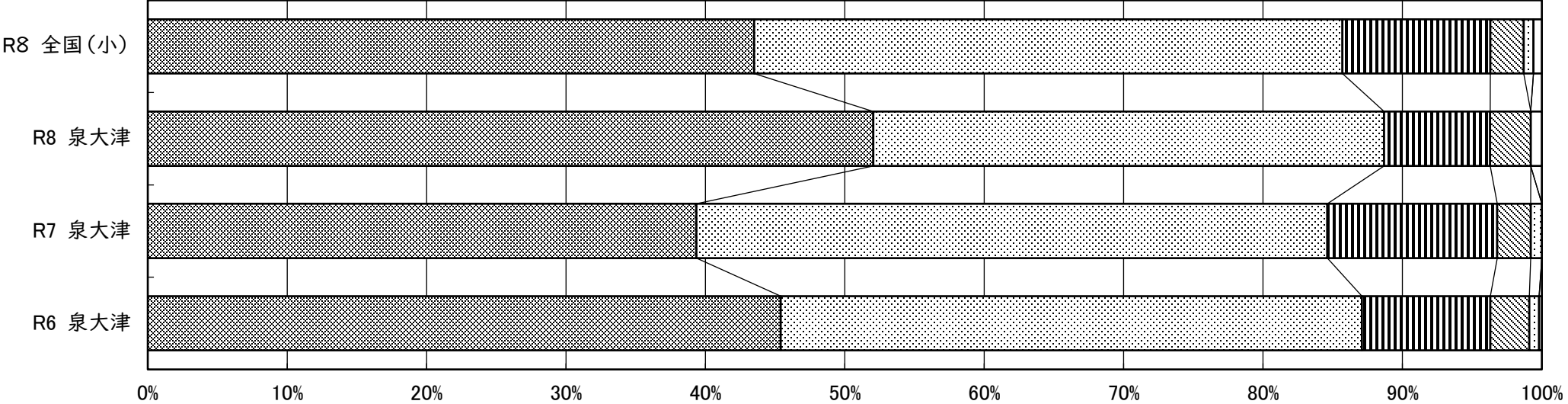
中学校



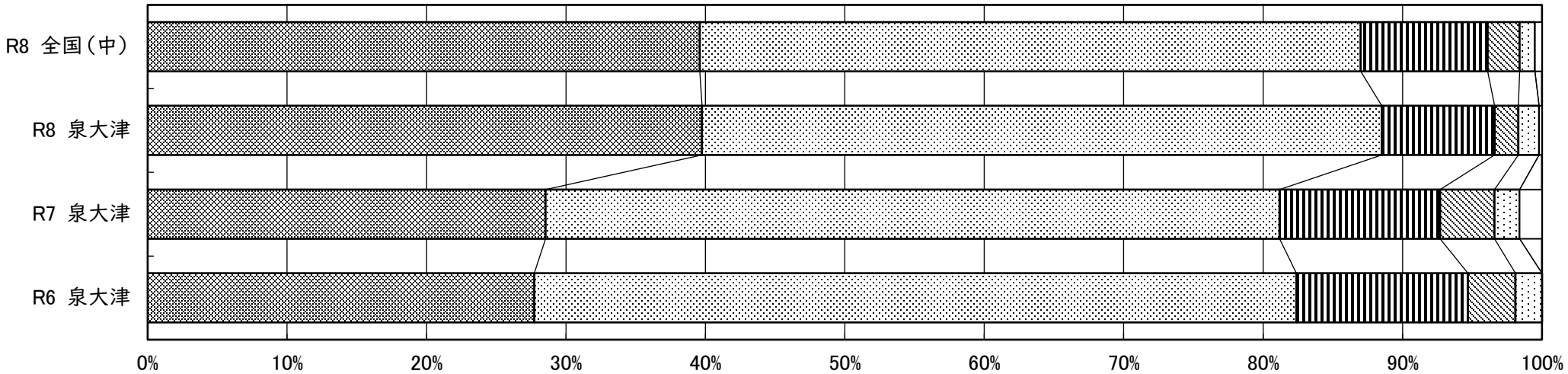
国 0.21
数 0.23
理 0.27

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

小学校

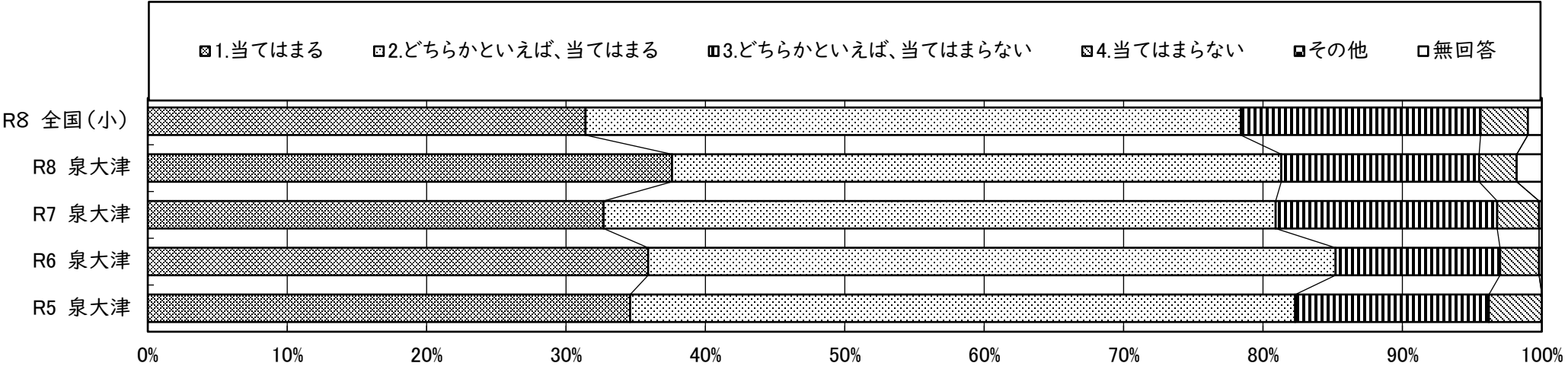


中学校



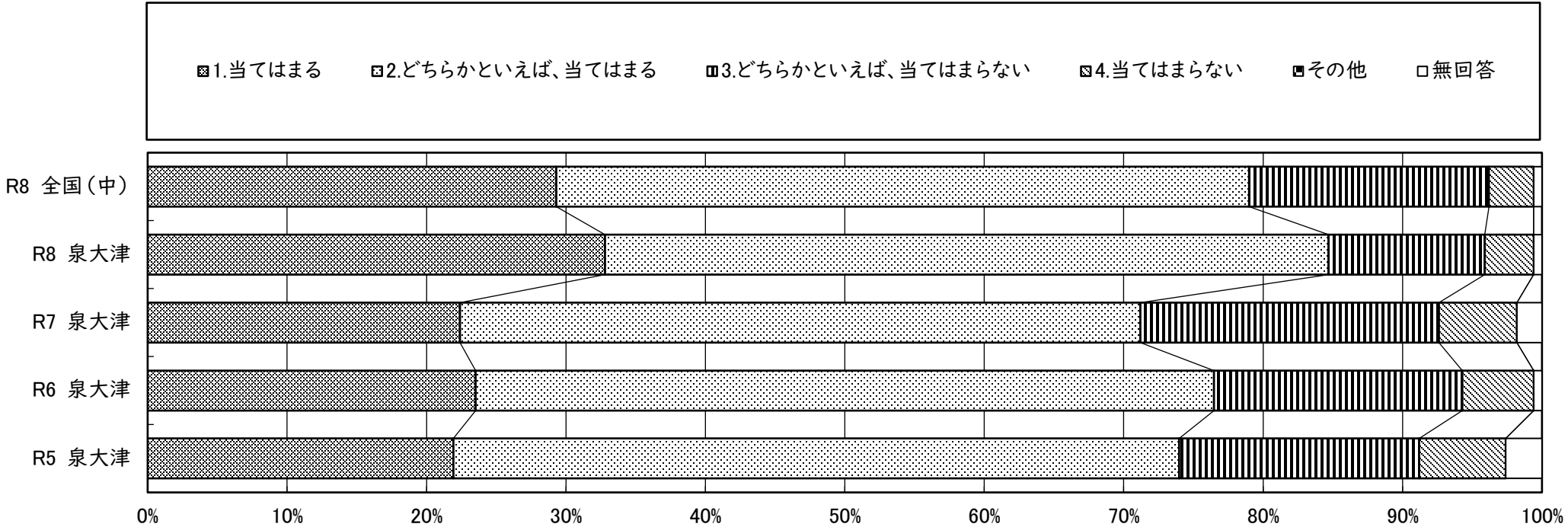
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

小学校



国 0.05
算 0.06

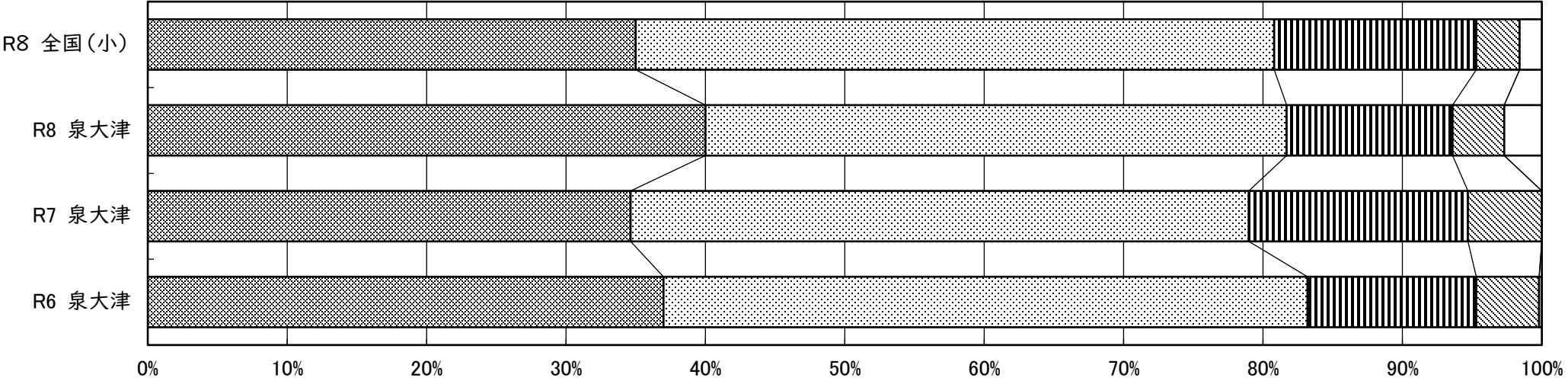
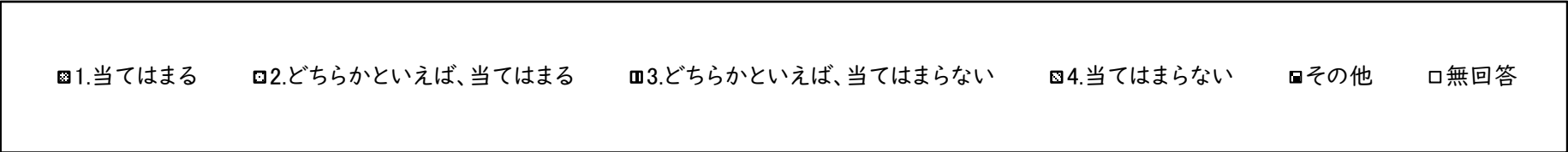
中学校



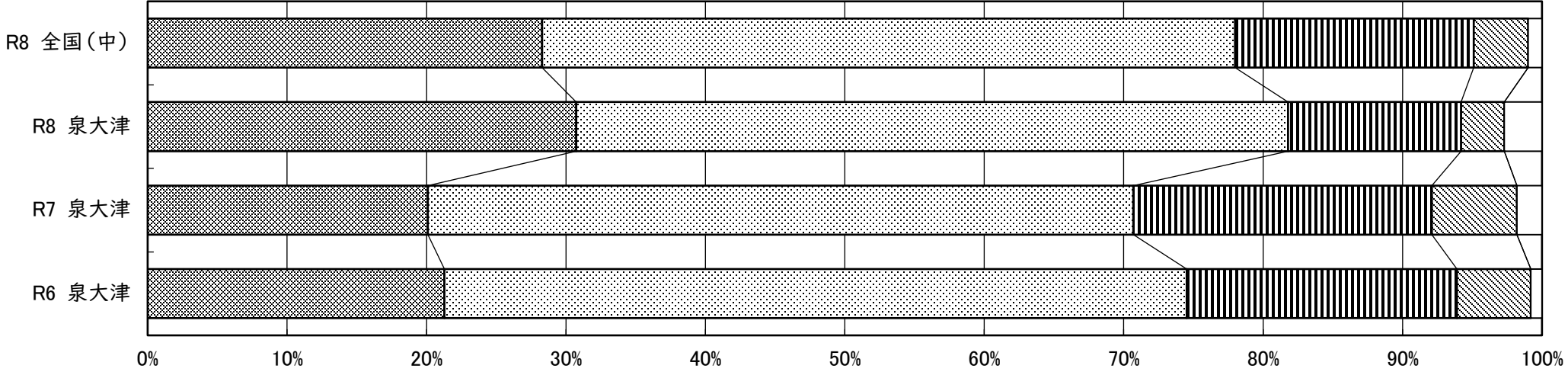
国 0.21
数 0.22
英 0.24

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

小学校

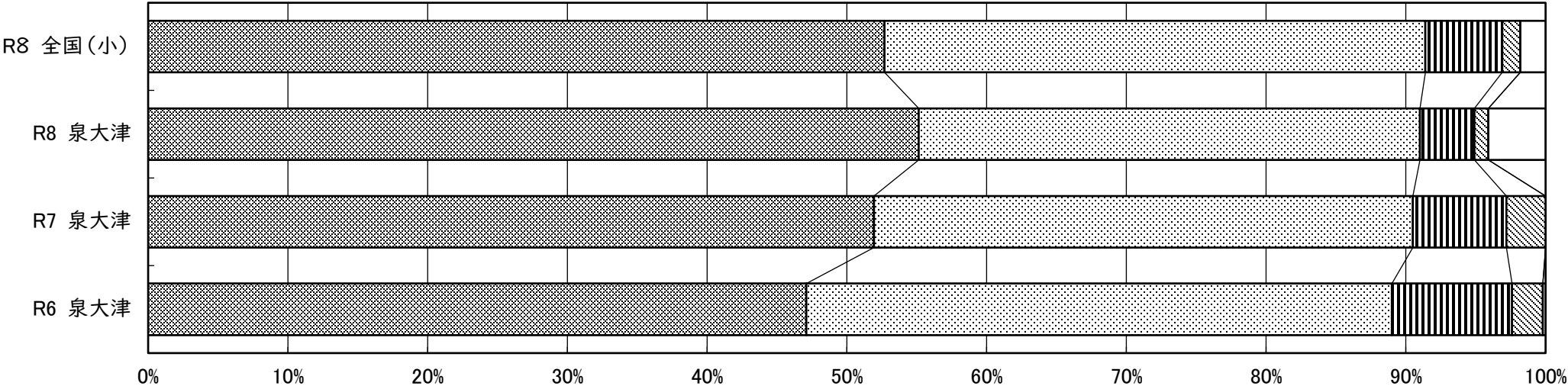


中学校

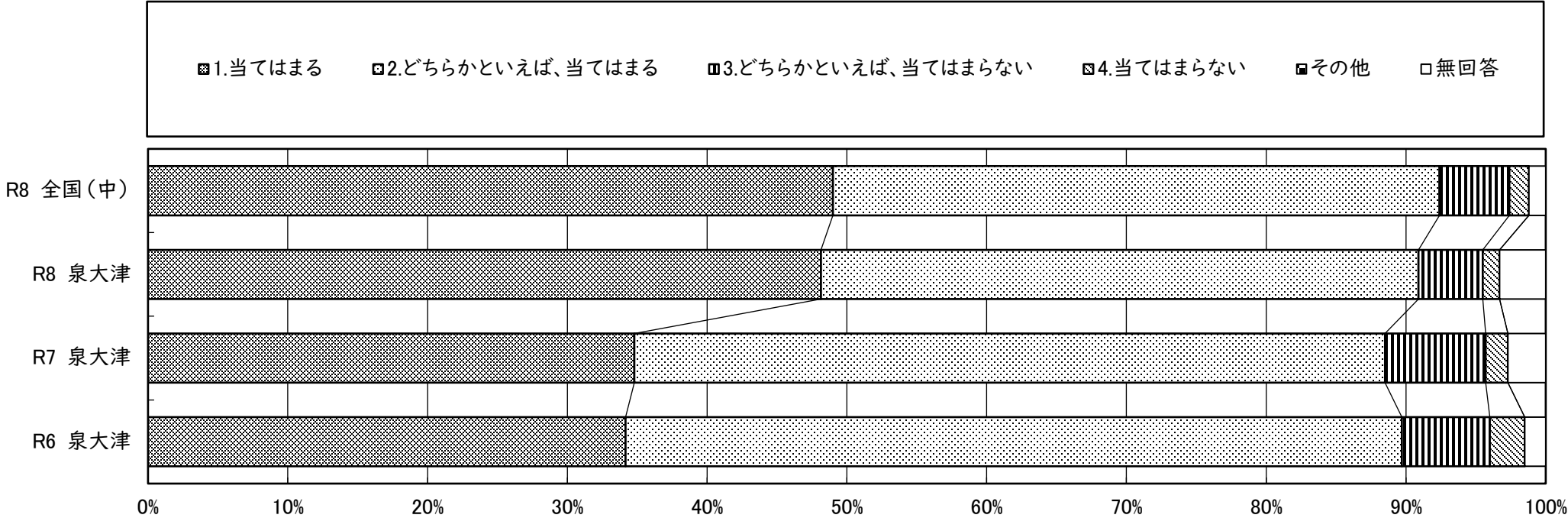


授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

小学校

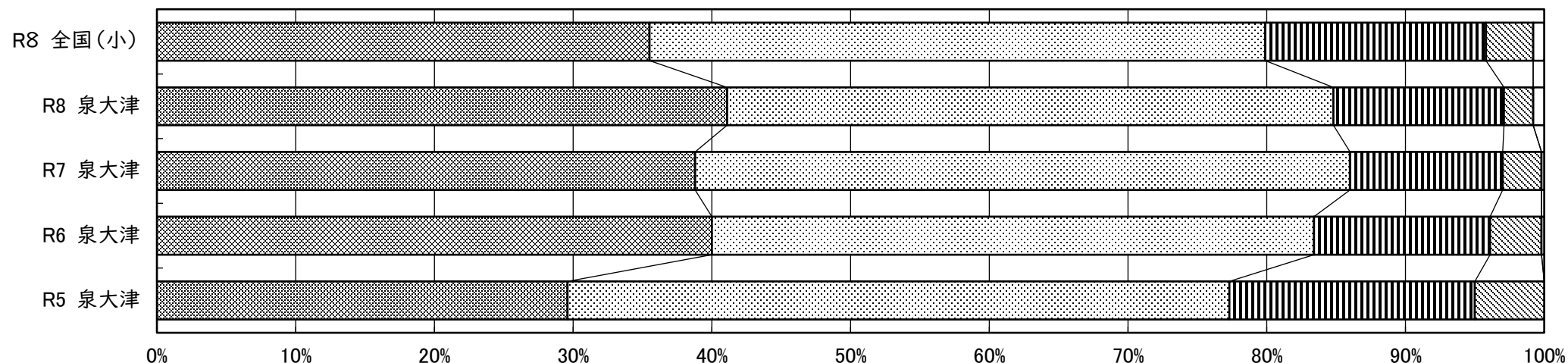


中学校

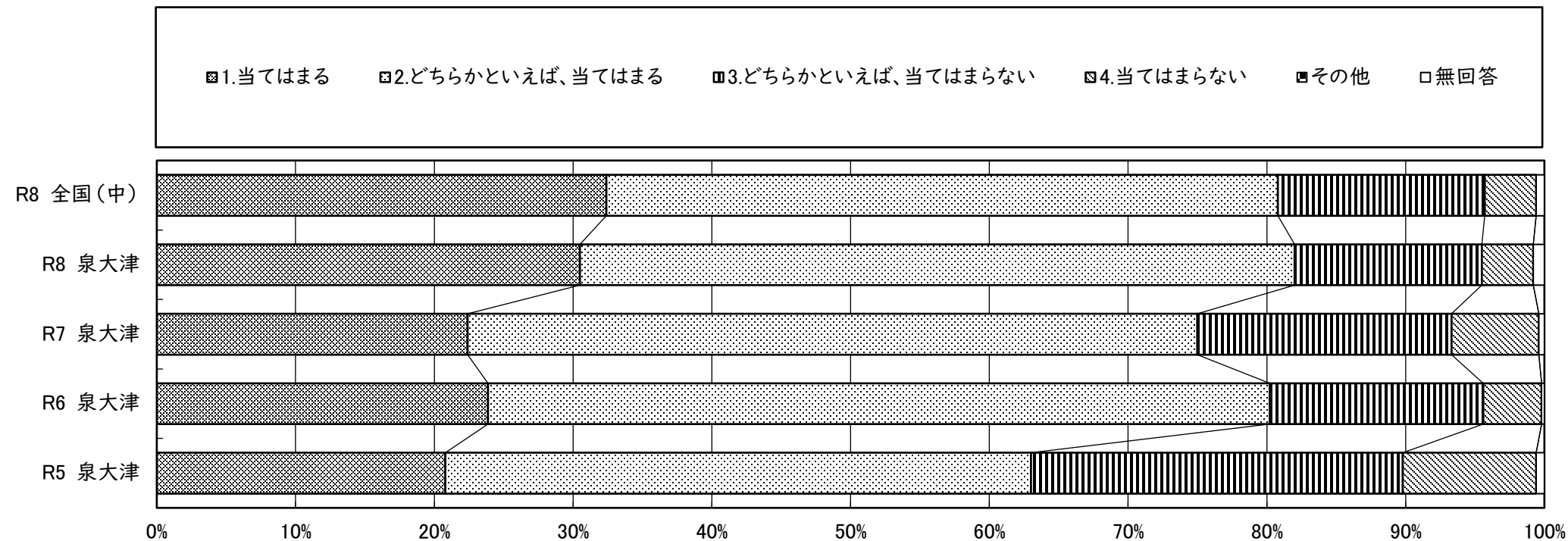


総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

小学校

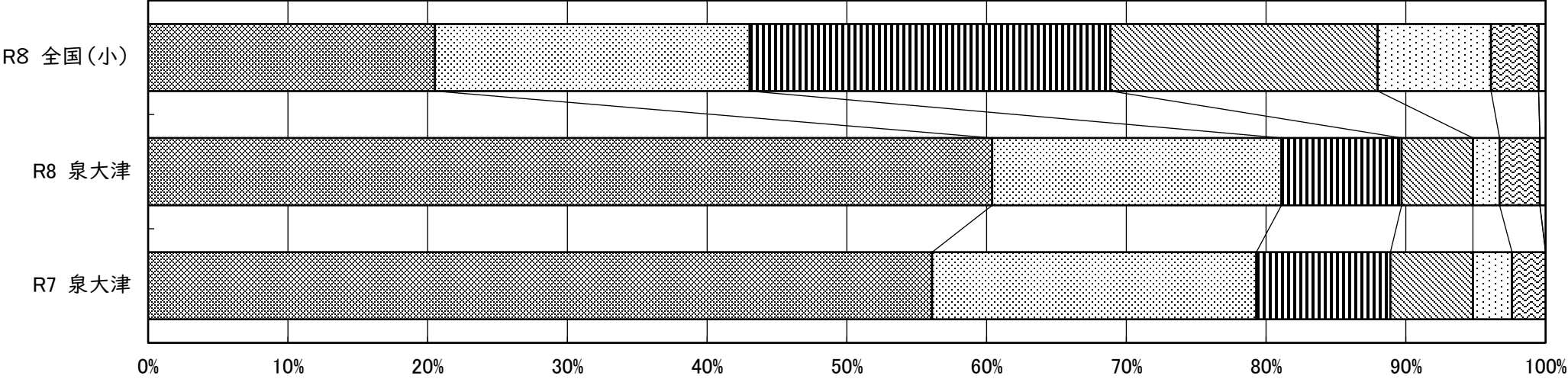


中学校

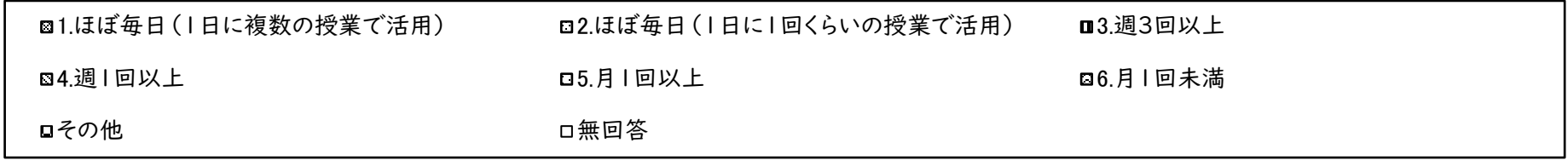


5年生（1・2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

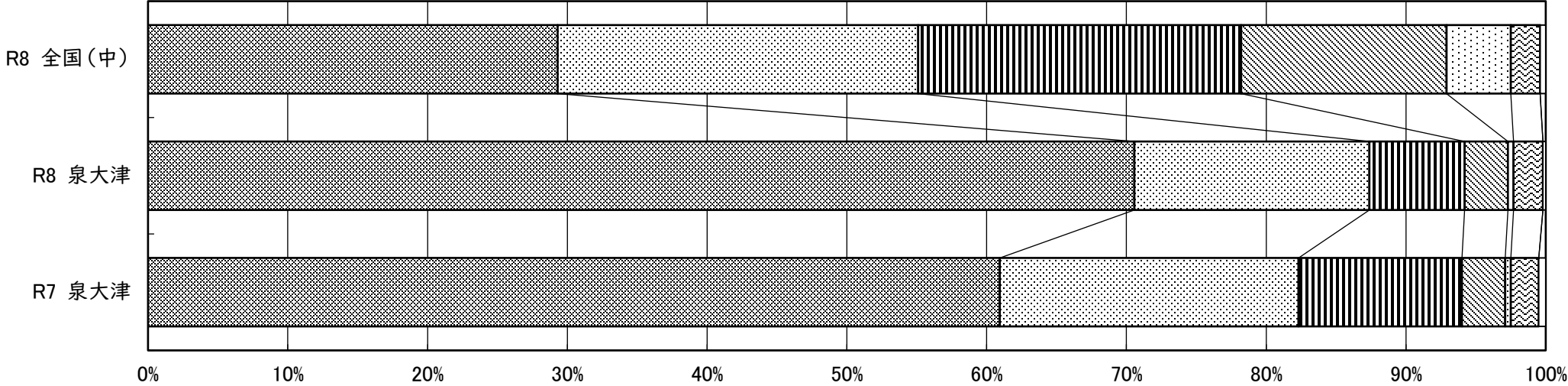
小学校



国 0.20
算 0.21



中学校

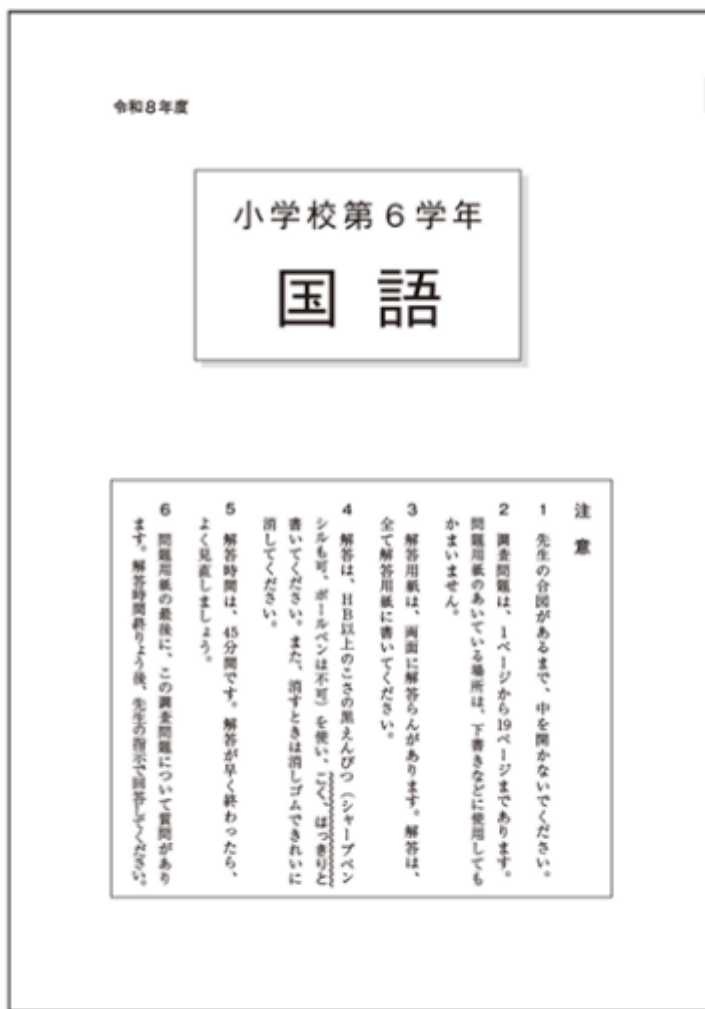


国 0.14
数 0.13
理 0.17

- 主体的に学ぶことや伝え方の工夫は概ねできています。一方でほとんどの項目において、肯定的回答をした児童生徒の割合が、昨年からはやや減少しており、児童生徒がもっと学びたいと思えるような課題設定や仕掛け等の授業づくりにおける工夫が求められています。
- ICTは大変有効に活用されています。Society5.0の時代においては、タブレットも日常の文房具の1つと表現されています。健康面に関する配慮と併せて、学習に有効な場面での利活用を継続していくことが求められています。

調査結果を踏まえた取組の充実

3 まとめ：調査結果を踏まえた取組の充実



鳥の目

俯瞰して全体を見る



虫の目

複数の様々な視点で
細部を見る



魚の目

変化や流れを見る





鳥の目

俯瞰して**全体**を見る

学級・学校全体

- ☐ 平均正答率（全体、領域・設問ごと）
- ☐ 解答類型の反応率
- ☐ 正答数の分布（学力層の分布）
- ☐ S-P表

調査全体

- ☐ 他の教科との比較、相関
- ☐ 複数の設問の相関
- ☐ 質問調査との相関

学校全体で取り組む
組織的な検証改善

- ☐ 定着に課題が見られる
指導事項の明確化

- ☐ 課題を踏まえた
教育課程の改善

- ☐ 系統性を踏まえた
組織的な学習指導の展開

学校全体で取り組む組織的な検証改善

□ 定着に課題が見られる指導事項の明確化

- ・ 学校全体として、特に学習指導を改善し、定着を図る必要がある指導事項は何かを明らかにすることが大切です。

□ 課題を踏まえた教育課程の改善

- ・ 当該の指導事項は、いつ（時期）、どのように（単元、指導方法等）指導しているかを確認、年間指導計画を見直すなど、定着を図るための改善策を検討する必要があります。

□ 系統性を踏まえた組織的な学習指導の展開

- ・ 調査の対象学年（教科）だけでなく、全ての学年で当該指導事項等に係る学習指導の充実を図り、螺旋的・反復的、教科等横断的に指導するなど、学校全体で組織的に学習指導を行うことが大切です。

虫の目



複数の様々な視点で
細部を見る

児童一人一人の状況

- ☐ 各設問の正答・誤答の状況
- ☐ 記述式問題の記述の状況
- ☐ 誤答した問題のつまずきの状況
- ☐ 児童質問調査の状況
- ☐ 他の調査・テストの状況や
日常の授業における学習状況
- ・
- ・
- ・

児童一人一人の
学習状況に応じた指導

- ☐ 学習指導のねらいの
明確化と学習状況の把握
- ☐ 学習状況に応じた
指導の手立ての具体化
- ☐ 個に応じた指導を適切に
行うための学習過程の工夫

児童一人一人の学習状況に応じた指導

□ 学習指導のねらいの明確化と学習状況の把握

- ・ 全ての児童に身に付けさせたい力（問われている資質・能力）を明確に（具体化、焦点化）した上で、児童一人一人の学習状況（解答状況）を把握することが大切です。

□ 学習状況に応じた指導の手立ての具体化

- ・ 児童一人一人の学習状況（解答状況）から、つまずきがどこにあるのかを見極め、そのつまずきに応じた指導を行うことが大切です。

□ 個に応じた指導を適切に行うための学習過程の工夫

- ・ 児童一人一人の学習状況に応じた指導を行うためには、教師による一斉指導だけではなく、学習過程や学習形態を工夫するなどして、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る必要があります。

3 まとめ：調査結果を踏まえた取組の充実

魚の目



変化や流れを見る

学校の成果、児童生徒の成長

- ☐ 過去の調査結果との比較、経年変化
- ☐ 児童生徒一人一人の6年間、9年間の成長

時代の流れ

- ☐ これからの社会で求められる力
- ☐ これからの学びの方向性
- ☐ 学習指導要領改訂の動き



調査問題に込められたメッセージ

- ・調査問題で問われている資質・能力
- ・調査問題に描かれた学習場面

これまでの歩み の確認・共有

- ☐ これまでの取組を振り返り
その成果や子供の成長を
学校全体で共有

これからの歩み の想像・創造

- ☐ これからの社会や
子どもたちの未来を
思い描き、
教育の動向を捉えながら、
教育活動の充実に向けた
不断の努力を継続

学習指導の改善・充実に向けて 「全国学力・学習状況調査」を御活用ください

調査問題

調査問題を解いてみることで、求められる資質・能力を具体的に理解することができます。

また、調査問題と同様の言語活動を設定して指導する際、教材として活用することもできます。



報告書

各問題について、解答類型と反応率、分析結果と課題、学習指導のポイントを掲載しています。



解説資料

調査実施後
すぐに活用
できる情報を
掲載しています。



説明会資料

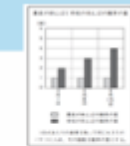
「全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会」の説明資料を公開しています。



授業アイデア例

これらの資料は、国立教育政策研究所のウェブサイトからダウンロード・視聴することができます。
<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>



	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
令和3年度	<p>私たちにできるSDGsを提案しよう</p> <p>資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する</p> 	<p>自分の考えを主張する文章を書こう</p> <p>目的や意図に応じて、自分の考えを支える理由や事例を明確にして詳しく書く</p> 	<p>便利な道具の仕組みや作り方について調べて報告しよう</p> <p>目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けながら読む</p> 
令和4年度	<p>地域のためにできることについて話し合おう</p> <p>互いの立場を明確にし、計画的に話し合い、考えをまとめる</p> 	<p>六年生としてがんばりたいことを書こう</p> <p>文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける</p> 	<p>不思議な出来事が描かれている物語を読み、友達とすいせんし合おう</p> <p>登場人物の相互関係や心情に着目し、人物像や物語の全体像を想像する</p> 
令和5年度	<p>学校ボランティアの人たちを紹介するためにインタビューをしよう</p> <p>話し手の目的や自分が聞くことする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめる</p> 	<p>学校の米作りについて解説する文章を書こう</p> <p>情報と情報との関係をつまみ、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する</p> 	<p>健康に過ごすために、複数の本や資料を読み、自分ができそうなことをまとめよう</p> <p>目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる</p>
令和6年度	<p>春花小の6年生と町の魅力を紹介し合おう</p> <p>目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する</p>	<p>学校のよさを伝える文章を書こう</p> <p>伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する</p>	<p>物語を複数読み、自分の読書の世界を広げたり深めたりしよう</p> <p>人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら、物語を読む</p> 
令和7年度	<p>働くことについて考えるためにインタビューをしよう</p> <p>目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、話し手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる</p> 	<p>伝統工芸品について推薦するちらしを書こう</p> <p>目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する</p> 	<p>言葉の変化について調べ、分かったことをもとに自分の考えをまとめよう</p> <p>目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける</p> 
令和8年度	<p>学校生活を楽しくするために、休み時間の過ごし方を学校のみんぱに紹介しよう</p> <p>資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する</p> 	<p>夏を快適に過ごすための工夫について報告する文章を書こう</p> <p>引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する</p> 	<p>思いや考えが書かれている文章を読んで、これからの自分について考えよう</p> <p>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる</p> 

問題分析・結果分析の活用にあたって

国研の調査官たちは、学習指導要領でめざす資質・能力育成の過程を、調査問題で具体的に表現しようとしています。

- ・現在行っている取組みの分析・評価
- ・授業改善の内容など実現可能な取組みの決定
- ・授業における調査問題のような場面設定や評価問題としての活用
- ・解答類型やRSの視点等を基に分析した児童・生徒一人ひとりの実態に応じた手立ての準備
- ・これら分析のプロセスを通じて教師が得た力を日頃の見取りや指導改善に生かすサイクルに

泉大津市 第3期 学力向上プラン

「学力向上プラン」3カ年計画の目標

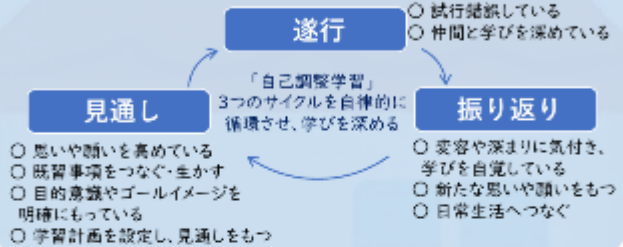
①教師の分析力向上 ②教師のRSの視点の獲得 ③子どもの自学力向上

※ ①学習意識調査 ②全国学力・学習状況調査の通過率、正答率及び解答類型への反応率、質問紙結果

自律した学習者を育てるということ



自己調整学習のサイクル



自己調整学習の効果高める方略の例（学習成果に繋がりがやすくなる）

動機づけ方略

学習方略

メタ認知方略

方略の指導に関する類型（子どもたちの工夫・発想を支える）

直接的な指導

間接的な指導

学習環境設定の工夫

学調（問題・結果）分析
からの授業改善

リーディングスキルの視点
からの授業改善

RSからのプランの二本柱

授業づくりや各校の研究の土台として大切にしたいこと
分析のプロセスを授業に生かすということ

- ・ 題材や問題の問い方を参考に、単元のパフォーマンス課題や発問を設定してみる
- ・ 解答類型や反応率、S-P表等から、授業における押えどころを把握し、一人ひとりに正しい理解を促す
- ・ 長期的な基礎の取組みや教科横断的な取組み等の効果の検証方法として位置づけ、取組みを改善する 等

子ども理解に基づき、言葉にこだわるということ

- ・ 読めるかな？ わかるかな？ 伝わったかな？ と必要に応じて批判的に教材研究や授業の進行を行う
- ・ 意味理解を促進するための音読・視写・暗写を取り入れてみる
- ・ 教科書の読み方（図と本文の対応付け等）や学習言語にこだわり、助詞の扱いに注意して、言い換えや図示を取り入れてみる 等

教師による自己調整学習の促進の例

動機づけ方略

質の高い学習を開始・継続できるように、自らの動機づけ（モチベーション）や感情を整える

学習課題の 意義づけ・価値づけ

目標に照らし合わせて努力に見合う価値があると実感する

学習環境の調整

自分自身が集中できる環境を整える

他者との 協働や支援の活用

友だちに聞く、協働する、教師や保護者の支援を求めるなど、社会的リソースを整える

自己肯定感の維持

成果の要因を「自ら変えられる内的要因（方略等）」で捉えさせる

意思や注意の コントロール

関係のない思考を抑え、注意を振り向ける

方略の指導に関する類型（子どもたちの工夫・発想を支える）

直接的な指導

間接的な指導

学習環境設定の工夫

学習方略

学習内容をよりよく理解し、定着させることができるよう学習中の情報処理の方法等を工夫する

反復方略

長期記憶として定着するまで、繰り返し学習できるようにする

精緻化方略

理由や意味を付け加えるなど、新たな学習内容を、既存の知識と関連付けて深く理解できるように工夫する

組織化方略

同じ点に着目して情報を整理する、内容を要約するなど、新たな学習内容の中で関係づけを行い、体系的に理解できるように工夫する

メタ認知方略

学習方略がうまく働きやすい学習成果に結びつくよう、自身の学習過程の計画・把握・調整・振り返り等を適切に行う

計画方略

学習活動に先んじて、計画、目標設定、方略の選択を行う

モニタリング方略

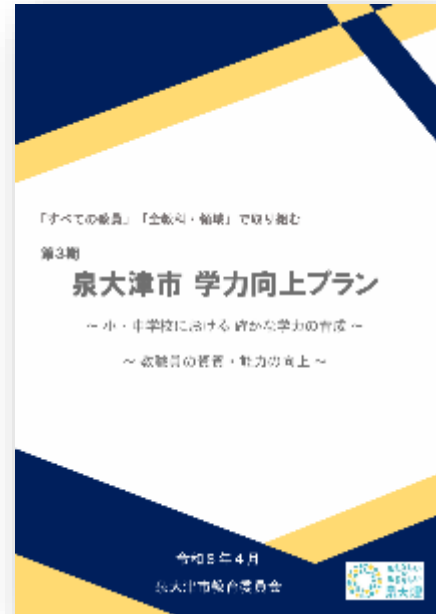
学習過程で理解度を自分に確認し、進捗を確認する

評価方略

終了後、進捗を当初の目標と照らし合わせる

調整方略

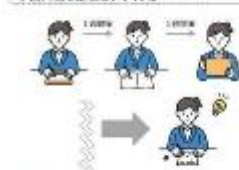
進捗状況に応じて自身の方略等を調整する



認知心理学の知見に基づく効果的な学習方略の例

分散学習

暗記の時間を空けて復習することで、長期的に学習内容を定着しやすくなる



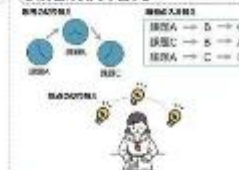
検索練習

学習内容を積極的に思い出す練習をする事で、記憶の定着と新しい知識での応用につなげる



交互配置（インターリーブ）

同じような問題を解き続けるのではなく、トピックを切り替えるながら学習する



精緻化

理由や意味など、学習している内容に情報を付け加えて深く、多角的に理解する



具体化

抽象的な概念を学習する際、具体的な例を用いて説明する



二重符号化（デュアルコーディング）

言語的な情報と視覚的な情報を組み合わせることで、情報を思い出しやすくなる

